

2027 年度海外留学支援制度（大学院学位取得型）の募集について

【大学取りまとめ応募】

標記のことについて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「JASSO」）より募集の通知がありました。

申請を希望する者は、次項以降の募集要項（特に「IV.資格要件」）をよく確認のうえ、**令和8年9月24日（木）17:00 まで**に国際課海外留学係あてに電子メールで連絡してください。

電子メールには必ず「学生番号（卒業生は在学当時のもの）」「氏名」「連絡可能なメールアドレス及び電話番号」を記載してください。

なお、別途、学生個人から JASSO へ**令和8年10月8日（木）13:00 まで**に応募システムを通じて応募書類を提出する必要があります。

※「氏名」「連絡可能なメールアドレス及び電話番号」は応募者情報として大学から JASSO へ登録します。

<連絡先>

国際課海外留学係

go@jim.kit.ac.jp

2027 年度海外留学支援制度 (大学院学位取得型)

募集要項

※この募集は、2027 年度予算の成立を前提に行うものです。



独立行政法人
日本学生支援機構

応募に際しては、「2027 年度海外留学支援制度(大学院学位取得型)申請の手引」(以下「申請の手引」という。)及び「募集要項補足 Q&A」も参照してください。

申請の手引には、応募書類の作成・提出方法等についての説明及び応募書類の記入例等を掲載しています。募集要項補足 Q&A には、応募資格要件や支援内容等に関するよくある質問とその回答をまとめており、募集要項の補足となる重要な内容ですので、必ず確認してください。

【大学取りまとめ応募・個人応募】

本制度には、「大学取りまとめ応募」と「個人応募」の2つの応募形態があります。
日本の大学に在籍中の学生又は卒業生については、やむを得ない場合を除き、原則「大学取りまとめ応募」で申請してください。

【大学取りまとめ応募】について

日本の大学(以下「取りまとめ大学」という。)が応募者と機構の間に入り、応募時や採用後における各種手続きや照会を行います。

応募者は、先ず取りまとめ大学に応募の意志及び氏名・Eメールアドレス・電話番号を申し出てください。

【個人応募】について

以下の事由により「大学取りまとめ応募」による申請ができない者に対して、応募の機会を確保するために実施します。

- ・海外の高等教育機関において「学士」以上に相当する学位を取得した、又は取得を目的に在籍しているため、取りまとめを依頼できる日本の大学がない。
 - ・応募時の在籍大学や卒業大学が「大学取りまとめ応募」を受け付けない。
- ※各種手続きや照会は応募者が機構と直接行います。

《注意》募集要項において、【大学取りまとめ応募】【個人応募】とそれぞれ記載している事項以外は、大学取りまとめ応募も個人応募も同様の取扱いとします。

目 次

I 海外留学支援制度の基本方針

1. 趣旨・目的
2. 派遣学生の定義
3. 本奨学金等の財源
4. 特別枠

II 支援予定人数

III 支援対象となる留学計画

1. 対象となる大学
2. 対象国・地域
3. 対象課程
4. 支援期間・支援開始・支援終了

IV 資格要件

V 支援内容

1. 奨学金月額(2026 年度実績)
2. 奨学金支給方法
3. 他の奨学金との併給

VI 応募受付・審査実施日程

VII 応募方法

1. 事前登録・エントリー
2. 応募書類提出[応募者]及び推薦状提出[推薦者]
3. 応募書類の準備
4. 応募書類
5. 提出の際の注意点
6. 応募書類の提出期間

VIII 審査方法

1. 第一次審査(書面審査)
2. 第二次審査(面接審査)
3. 採否結果
4. その他

IX 採用決定後の重要事項

1. 採用登録
2. 各種報告等の提出
3. 採用の取消し
4. 支給の休止

X その他

1. 留学中の安全管理
2. 個人情報の取扱い
3. 留学先国・地域による奨学金月額(別紙1)
4. 海外留学支援制度 学校コード表(別紙2)
5. 各語学能力試験の CEFR との対応表(別紙3)
6. 特別枠対象大学リスト(別紙4)
7. 特別枠対象分野(別紙5)

I 海外留学支援制度の基本方針

1. 趣旨・目的

海外留学支援制度(大学院学位取得型)(以下「本制度」という。)は、諸外国及び諸地域(以下「諸外国等」という。)に所在する大学(以下「留学先大学」という。)へ留学する日本人学生等に対し、独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)が、国費により学修活動に必要な経費を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、日本と諸外国等との相互理解と友好親善を増進し、国際的にも指導的立場で活躍できる優秀な人材の育成及び高度化に努め、グローバル人材の育成に必要な日本人学生等の海外留学を促進するとともに、日本の国際化・国際競争力強化に資することを目的とします。

2. 派遣学生の定義

募集要項において「派遣学生」とは、修士又は博士の学位を取得するために留学(日本の大学と外国の大学との間におけるジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリー等国際共同学位プログラムによる留学を含む。)する日本人学生等で、留学先大学における学位取得のための正式な教育課程に在籍する間、本制度により学修・研究活動に必要な経費の支援を受ける者としてします。

3. 本奨学金等の財源

本制度は、日本政府から交付される補助金を財源に実施しており、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」(昭和 30 年8月 27 日法律第 179 号)の適用を受けます。

従って、不正な手段により補助金(奨学金等)の交付を受けた者、又は補助金(奨学金等)を他の用途に使用した者には、交付の取消しや返還命令が行われ、場合によっては刑事罰が科されることがありますので、「募集要項」や後日掲載予定の「手続の手引」等に定める規定や手続きを遵守してください。

4. 特別枠

成長分野において、高い専門性と国際的なネットワークを備えた博士人材が求められている中、我が国は、国際共同研究等、国際頭脳循環の輪から外れつつあるといった課題が存在します。

それらを踏まえ、世界トップレベル大学の理系博士課程への派遣について重点的に推進することを目的とし、海外留学支援制度(大学院学位取得型)特別枠(以下「特別枠」という。)を設けています。

II 支援予定人数

未定(参考: 2026 年度採用人数 175 名(うち特別枠 10 名))

《特別枠》

10 名程度を予定

※審査結果等を踏まえて採否を決定するものであり、この人数はあくまで目安に過ぎないことにご留意ください。

III 支援対象となる留学計画

2027 年4月1日から 2028 年3月 31 日までの間に本制度による支援を開始する計画が対象です。

1. 対象となる大学

修士又は博士の学位を授与できる諸外国等の大学(機関)

※支援期間中に転学・編入学・再入学等することは、留学計画の変更に当たるため、原則認めません。

2. 対象国・地域

第1項の大学(機関)が所在する諸外国等

3. 対象課程

第1項の大学(機関)における正規課程(修士又は博士の学位が取得でき、かつフルタイムの学生として在籍する課程)

※専攻分野の指定はありません。ただし、芸術分野において主に実技科目履修により学位を取得する場合は、本制度の支援対象外です。

※学士・修士一貫課程について、支援期間開始までに学士の学位を取得できない場合は、本制度の支援対象外です。

※通信・遠隔教育(完全オンライン授業や指導教員による研究指導・論文指導等)により提供される課程で、日本以外の諸外国等に滞在せずに学位取得が可能な場合は、本制度の支援対象外です。

4. 支援期間・支援開始・支援終了

(1) 支援期間

修士の学位を取得するプログラムは2年(24 か月)、博士の学位を取得するプログラムは3年(36 か月)が上限です。

※修士又は博士の学位を取得する課程の学生として留学先大学が定める学位取得に必要な最短期間(以下「標準修業年限」という。)を支援します。在学年限(在学可能な年限)ではありません。

※正式な教育課程で学修・研究活動を開始する前に参加するプログラム(ESL等の語学研修期間等)、新入生オリエンテーション、履修登録の期間は、支援期間に含めません。

※留学先大学が修士・博士一貫課程という取扱いをしている場合等で、最初に取得する学位が博士号である場合は、「博士」(上限3年(36 か月))の区分で申請してください。また、修士号と博士号が同時に授与される場合も「博士」の区分で申請してください。

※留学先大学が修士・博士一貫課程という取扱いをしている場合等で、最終的に博士号を取得するプログラムであっても、当該課程の途中で修士号を取得する場合(応募者の希望にかかわらず留学先大学が修士号を授与する場合を含む。)は、「修士」(上限2年(24 か月))の区分で申請してください。修士号取得後の残りの期間は、「博士」の区分で再度応募してください。

※特別枠に申請する場合は、留学先大学が修士・博士一貫課程という取扱いをしている場合等で、当該課程の途中で修士号を取得する場合においても、取得予定学位は最終的に取得する博士号とし、「博士」(上限3年(36 か月))の区分で申請してください。

※支援期間の延長は、原則認めません。

例	状況	支援期間 (上限)	応募区分	備考
1	標準修業年限が1年の修士課程第1学年に進学する場合	1年	修士	
2	標準修業年限が4年の修士・博士一貫課程第1学年に進学する場合で、入学後1年目にまず修士号を取得する場合	1年	修士	※課程の途中で修士号を取得するため、応募区分は「修士」です。

3	応募時に標準修業年限が5年の修士・博士一貫課程第2学年に在籍しており、第3学年からの支援を希望する場合 ※5年間の途中で修士号を取得しない	3年	博士	※第3・4・5学年を支援します。
4	標準修業年限が3年の博士課程第1学年に進学する場合	3年	博士	
5	応募時に標準修業年限が3年の博士課程第1学年に在籍しており、第2学年からの支援を希望する場合	2年	博士	※第2・3学年を支援します。
特別枠	標準修業年限が5年の修士・博士一貫課程第1学年に進学する場合で、入学後2年目にまず修士号を取得する場合	3年	博士	※課程の途中で修士号を取得するかどうかに関わらず、応募区分は「博士」です。

(2) 支援開始

2027 年度中(2027 年4月1日から 2028 年3月 31 日まで)で、留学先大学における学位取得のための正式な教育課程での学修・研究活動を開始する月から支援を開始します。

既に学位取得のための正式な教育課程に留学中で、学修・研究活動を継続する者については、2027 年度中で新たな学年の学修・研究活動を開始する月から支援を開始します。学年の明確な定義がない場合は、12 か月を1学年とみなします。

(3) 支援終了

標準修業年限内で、学籍がある期間のうち、留学先大学における学位取得のための学修・研究活動の終了する月又は上記(1)で定める期間の終了時のいずれか早い方の月までとします。

IV 資格要件

次の(1)～(15)に掲げる全ての要件を満たす者とします。

《応募時に満たすべき要件》

(1) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者(特別永住者を含む。)

※「募集要項」でいう「日本人学生等」には、日本国籍を有する者の他に日本への永住が許可されている者(特別永住者を含む。)を含みます。

(2) 次のいずれかに該当する者

- ① 留学期間終了後、大学や研究機関等において、日本の国際競争力の強化や国際社会への知的貢献に資する教育研究を行う意思を有する者
- ② 留学期間終了後、将来的に国際機関等の中核的な職員として国際貢献に資する活動を行う意思を有する者
- ③ 留学期間終了後、その他の機関において、①又は②に類する活動を行う意思を有する者

(3) 国費による本制度の支援を受けて、自身が留学で得た経験や成果を将来にわたって日本社会に還元し、国や社会に貢献する者で、かつ機構が依頼する各種イベントへの参加、書籍への執筆、調査等に協力する者

※留学先での日本のPRの実施や日本での留学報告会、留学経験を踏まえた社会貢献活動に参加することも含まれます。これらの活動状況については、支援期間中及び支援期間終了時から5年間、年に1回実施する派遣学生状況調査において報告する義務があります。

(4) 2027年4月1日現在の年齢が次のとおりである者

- ① 「修士」の学位取得を目的とする者： 35歳未満
- ② 「博士」の学位取得を目的とする者： 40歳未満

(5) 学校教育法第2条に基づき設置された日本の大学等を卒業し、学士以上の学位を取得した者若しくは支援期間開始までに取得する者、又は海外の高等教育機関において、日本の「学士」以上に相当する学位を取得した者若しくは支援期間開始までに取得する者

(6) 留学先大学での主たる使用言語の能力が、次に掲げる水準以上である者

※留学先大学が求める語学能力にかかわらず、次の水準を満たしていることが応募の条件です。

- ① 留学先大学での主たる使用言語が英語である者
応募時までに、TOEFL iBT5.0 (Overall Score) 以上 (2026年1月21日以降に受験の場合)、95 (Total Score) 以上 (2026年1月20日以前に受験の場合)、又は IELTS 6.5 (Academic Module Overall Band Score) 以上の得点を取得している者
- ② 留学先大学での主たる使用言語が英語以外である者
応募時までに、受験した主たる使用言語の語学能力試験の結果 (総得点) が、ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) C1レベル以上である者

(7) 大学学部以降の直近の在籍課程の成績について、総在籍期間におけるGPAが3.00 (GPの最大値を4.00とした場合) 以上である者

※直近の在籍課程とは、大学学部以降に最後に在籍した課程とします。ただし、大学学部卒業見込み者又は修士課程若しくは博士課程に在籍中の者は、原則応募時に在籍している課程とします。

※直近の在籍課程の成績がGPA (GPの最大値を4.00とした場合) に対応していない場合は、当該校発行書類又は機構が指定する算出方法により成績が基準に達していることを証明することができれば応募可能とします。

(8) 留学先大学での取得予定学位が、取得済み学位と同分野かつ同レベルでない者

(9) 留学先大学での勉学に耐えられる健康状態である者

(10) (【個人応募】のみ) 留学中の本人に代わり、日本国内において、日本語で確実に事務手続き等の連絡を取ることができる連絡人を有する者

※【大学取りまとめ応募】の場合は、取りまとめ大学が機構と連絡を取るため不要です。

《支援開始までに満たすべき要件》

(11) 支援期間開始までに留学先大学の入学許可を得ることができる者

※留学先大学の入学許可は、「条件付」のものは認められません。

(12) 留学に必要な査証を自身で得ることができる者

(13) 支援期間開始時に、大学、企業等に雇用されていない者

《その他要件》

(14) 支援期間中において報酬等を伴う労働等を行わない者。ただし、以下の条件を満たす場合に限り、当該労働等を行うことに係る報酬等を受給することを認める。

- ① 支援期間中は、学位取得に向けた学修・研究活動等の遂行に専念できること
- ② 当該労働等により学修・研究活動の遂行に支障が生じ学位取得が遅れないこと

※留学先国・地域における当該労働に必要な査証や資格等にかかる法令の規定については必ず各自で確認の上、遵守してください。

(15) その他、機構理事長が必要と認める条件を満たす者

《特別枠》

(16) 上記(1)～(15)に加え、以下の全ての項目を満たす者は、特別枠として申請可能。

① 2027 年度中(2027 年4月1日から 2028 年3月 31 日まで)に、博士の学位を取得する課程の第1学年に進学する者

② 第1希望又は第2希望の留学先大学が別紙4「特別枠対象大学リスト」で指定する大学である者

※別紙4「特別枠対象大学リスト」に記載されていない大学への留学計画についても、指定の説明様式にて留学先大学が特別枠対象大学と同等以上であることを説明することができれば申請可能とします。

③ 専門分野が別紙5「特別枠対象分野」で指定する分野であり、審査分野を「自然科学」とする者

V 支援内容

支援期間中、派遣学生に対して、奨学金を支給します。これらの支援額については、2027 年度予算の成立状況により変更する場合があります。

1. 奨学金月額(2026 年度実績)

留学先の国・地域により異なります。詳細は別紙1「留学先国・地域による奨学金月額」を参照してください。

区分	奨学金月額	主な国・地域
A	388,000 円	カナダ・アメリカ合衆国・英国
B	335,000 円	オーストラリア
C	330,000 円	オランダ・スウェーデン
D	277,000 円	
E	280,000 円	
F	227,000 円	中国・大韓民国
G	230,000 円	フランス・ドイツ・イタリア・スペイン・スイス
H	177,000 円	タイ

※新規採用者に対し、支援開始時に渡航支援金1万円を支給します。

《特別枠》

特別枠対象大学が所在する国・地域ごとに留学に必要な経費を調査し、年間支援総額 1,000 万円程度を上限として、奨学金月額を数種類の区分に分けて設定します。奨学金月額の目安は別紙4「特別枠対象大学リスト」を参照してください。

※新規採用者に対し、支援開始時に渡航支援金1万円を支給します。

2. 奨学金支給方法

【大学取りまとめ応募】

奨学金の支給は、取りまとめ大学を通じて行います。取りまとめ大学が毎月在籍確認を行った上で、派遣学生の本人名義である日本国内の金融機関の口座へ送金します。

【個人応募】

奨学金の支給は、毎月在籍確認を行った上で、機構が派遣学生の本人名義である日本国内の金融機関の口座へ送金します。

※2027年度の奨学金支給方法は、2027年3月下旬公開予定の手続の手引で改めてお知らせします。

3. 他の奨学金との併給

機構の官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム」及び海外留学支援制度(学部学位取得型・協定派遣)との併給は認めません。貸与奨学金(第二種奨学金(海外))やその他(機構以外)の奨学金等との併給は可能です。ただし、他の奨学金等支給団体側においては、本制度の奨学金との併給を認めない場合があるので、当該団体に確認してください。

VI 応募受付・審査実施日程

以下の日程で応募受付・審査を行います。

項 目	日 程
【大学取りまとめ応募】 事前登録・応募者エントリー [大学担当者]	・事前登録 2026年9月1日(火)～9月29日(火)13時(日本時間)まで ・応募者エントリー 2026年9月3日(木)～10月1日(木)13時(日本時間)まで
【個人応募】 エントリー[応募者]	2026年9月1日(火)～10月1日(木)13時(日本時間)まで
【大学取りまとめ応募】【個人応募】 応募書類提出[応募者]	2026年9月1日(火)～10月8日(木)13時(日本時間)締切 ※学位応募システムから提出
【大学取りまとめ応募】【個人応募】 推薦状提出[推薦者]	2026年9月1日(火)～10月8日(木)13時(日本時間)締切 ※推薦状提出フォームから提出
第一次審査(書面審査) 結果通知	2027年1月上旬(予定) ※応募者全員宛に通知
第二次審査(面接審査)	第一次審査(書面審査)合格者に対してのみ実施 面接日:2027年1月23日(土)～1月25日(月)のいずれか 1日(予定)
採否結果(第二次審査(面接 審査)結果通知)	2027年3月上旬(予定) ※面接受験者全員宛に通知

VII 応募方法

応募はオンラインシステム(以下「学位応募システム」という。)で受け付けます。学位応募システムの利用にあたり、大学取りまとめ応募では大学担当者による事前登録・応募者エントリーが必要です。個人応募では応募者によるエントリーが必要です。

1. 事前登録・エントリー

【大学取りまとめ応募】

[大学担当者]事前登録・応募者エントリー

- ①以下の事前登録ページから取りまとめ大学の登録を行ってください。
- ②事前登録後2営業日以内に、登録したEメールアドレス宛に応募者エントリー用のシステムに係るご案内メールが届きます。パスワード設定を行った上でシステムにログインし、応募者エントリー(応募者情報として氏名とEメールアドレス、電話番号を入力)を行ってください。

※昨年度(2026年度募集)に事前登録・応募者エントリーを行った場合、再度の事前登録は不要です。以下の応募者エントリー用のシステムにログインの上、応募者エントリー(応募者情報として氏名とEメールアドレス、電話番号を入力)を行ってください。

※応募者エントリー用のシステムに関する詳細は、「システム操作マニュアル(大学院 学部学位取得型 取りまとめ大学担当者用)」を確認してください。

※応募者エントリー期間に全ての応募者の登録を済ませられるよう、余裕をもって事前登録を行ってください。

※応募者エントリー期間中、随時応募者の登録が可能です。

◆大学担当者用事前登録ページ

<https://jasso-gakuiiryugaku.snar.jp/entry.aspx?entryid=72aa4a57-2fd8-4b92-b58b-380fef8420e7>



◆応募者エントリー用のシステム

<https://manager.snar.jp/agent.aspx>



[応募者]パスワード設定

取りまとめ大学が応募者エントリーを行うと、登録された当該応募者のEメールアドレス宛にID(選考管理番号)と学位応募システムのURL、推薦状提出フォームのURLが届きます。学位応募システムのURLにアクセスして、パスワード設定を行ってください。

【個人応募】

応募者は、以下のエントリーページから登録(パスワード設定を含む。)を行ってください。エントリーが完了すると、登録したEメールアドレス宛にID(選考管理番号)と学位応募システムのURL、推薦状提出フォームのURLが届きます。

◆応募者用エントリーページ

<https://jasso-gakuiiryugaku.snar.jp/entry.aspx?entryid=8b4952e5-6cb8-43ed-b00e-8028d7035760>



2. 応募書類提出[応募者]及び推薦状提出[推薦者]

(1)応募書類提出[応募者]

上記1. で入手した ID(選考管理番号)と設定したパスワードを用いて、学位応募システムにログインの上、応募書類を提出してください。

(2)推薦状提出[推薦者]

推薦状は、推薦者が推薦状提出フォームから直接提出します。

応募者は、推薦者2名に、上記1. で入手したID(選考管理番号)、推薦状提出フォームURLを伝え、提出を依頼してください。

※推薦状提出に関する詳細は、推薦者宛のご案内「推薦状の提出について」(別添)に記載していますので、推薦者に渡して依頼してください。

※提出状況について、電話やメールでの問い合わせは一切受け付けません。推薦者には、推薦状の提出が完了すると即日メールが配信されます。応募者は、推薦者から提出された書類が、確実に応募者の書類であることが受付センターで確認でき次第、学位応募システム上で提出状況を確認できるようになります。

3. 応募書類の準備

応募書類は、「申請の手引」及び「募集要項補足 Q&A」に従って準備・作成してくだ

さい。申請の手引、募集要項補足 Q&A 及び応募書類の各様式は、機構のウェブサイトからダウンロードしてください。

◆応募者用ページ

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/daigakuin/2027.html



◆大学担当者用ページ

※機構のウェブサイト内の学校担当者ページにログインするユーザIDとパスワードが必要です。なお、掲載している応募書類は上記の応募者用ページのものと同じです。

https://www2.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/daigakuin/about/2027.html



4. 応募書類

(1) 応募者が作成又は準備(入手)するもの

① 応募者の顔写真(JPEG 形式)

② 願書(様式1)

③ 留学先大学情報【第1希望・第2希望】(様式2-1・様式2-2)

※留学先大学における留学計画(所属課程や専攻、取得予定学位等も含む。)は第2希望まで記入できます。同じ留学先大学であっても、所属課程や専攻、取得予定学位が異なる場合は、それぞれ別の留学計画として記入する必要があります。

※第1希望・第2希望以外にも希望がある場合、様式2-3・様式2-4に第3希望・第4希望を記入してください。採用後にやむを得ず第2希望までに進学できない場合、第3希望又は第4希望に記入していた留学先大学における留学計画に限り、変更の審査(再審査)を認めることとします。ただし、第1希望～第4希望以外への変更を希望する場合は、第4希望まで全て記入していた場合に限り、変更先大学が明らかにそれら4校と同等又はそれ以上のレベルであることを条件に、留学計画の変更の審査(再審査)を認めることとします。

※第1希望～第4希望において、応募時には判明していなかった指導教員の転籍等不可抗力により変更せざるを得ない場合は、留学計画の変更の審査(再審査)を認めることとします。

④ ③(留学先大学情報【第1希望・第2希望】)の根拠書類(様式2-1・様式2-2別添)

⑤ 業績等について(様式3)

※学長(総長)賞や学会における表彰を受賞している等、顕著かつ明確な実績がある場合は記入してください。面接審査において確認する場合があります。

⑥ 研究計画及び修了後の進路計画書(様式4)

⑦ 日本社会への貢献について(様式5)

⑧ 代表的論文の抜粋(⑤(業績等について(様式3))の別添)

※大学学部卒業(見込み)者で卒業論文がある場合は卒業論文の抜粋又は要旨を提出するのが望ましいですが、卒業論文がない場合は応募者自身の判断により妥当と思われる他の論文やレポートを提出してください。

※共著や共同研究の場合は、共著又は共同研究であることを明記した上で、応募者自身がどのように貢献したかを明示してください。

⑨ パスポート(又は在留カード(両面))

⑩ 語学能力試験証明書

※留学先大学での主たる使用言語が英語以外で、別紙3「各語学能力試験のCEFRとの対応表」に記載されていない試験の証明書を提出する場合は、CEFRとの対照表を併せて提出してください。CEFRとの対照表が存在しない場合やCEFRと対照できる語学能力試験が存在しない場合は、「語学運用能力証明書」(様式イ)を提出してください。

⑪ 大学学部以降の卒業(修了)証明書(又は見込み証明書)(大学学部以降に在籍した全ての課程分)

※応募時に大学院に在籍中で、卒業(修了)見込み証明書が提出できない場合は、直近の在籍証明書を提出してください。在籍証明書も提出できない場合は、入学許可書を提出してください。

⑫ 大学学部以降の公式の学業成績証明書(大学学部以降に在籍した全ての課程分)

※直近の在籍課程については、GPAが記載されている成績証明書の発行を直近の在籍校に依頼してください。

⑬ ⑫(大学学部以降の学業成績証明書(大学学部以降に在籍した全ての課程分))に対応した成績評価基準(Grading system)

【⑫⑬共通】

※直近の在籍課程の成績はGPAに対応しているが、GPの最大値が4.00でない場合は、「GPA計算書」(様式リー-1)を使用してGPの最大値を4.00に換算したGPAを算出してください。(該当する成績証明書及び成績評価基準(Grading system)、「GPA計算書」(様式リー-1)を提出すること。)

※直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない場合は、「GPA計算書及びGPA算出方法説明書」(様式リー-2)を使用してGPA(GPの最大値を4.00とした場合)を算出の上、算出方法とその根拠も記載してください。(該当する成績証明書及び成績評価基準(Grading system)、「GPA計算書及びGPA算出方法説明書」(様式リー-2)を提出すること。)

※直近の在籍課程の成績がGPAに対応しており、GPの最大値が4.00であるが、成績証明書にGPAが記載されていない場合は、補足資料として当該校発行のGPA記載書類(非公式文書でも可)を提出してください。当該校発行のGPA記載書類が存在しない場合は、「GPA計算書及びGPA算出方法説明書」(様式リー-2)を使用してGPAを算出してください。(該当する成績証明書、成績評価基準(Grading system)、並びにGPA記載書類又は「GPA計算書及びGPA算出方法説明書」(様式リー-2)のいずれかを提出すること。)

(2) 応募者が作成を依頼し、依頼された者が提出するもの

⑭ 推薦状2通【推薦者が推薦状提出フォームから作成・提出】

※2名の推薦者が必要です。指導教員等の大学教員や職場の上司等、応募者の専門分野について十分な知識と高い見識を持ち、応募者の研究姿勢をよく知っている人物に依頼してください。

※応募者は、日本語又は英語での作成を依頼してください。

5. 提出の際の注意点

申請の手引及び募集要項補足 Q&Aをよく確認の上、応募書類を提出してください。

(1) 4. 応募書類①～⑬のファイル名にはそれぞれ指定があります。

(2) 4. 応募書類④及び⑧～⑬は所定の台紙と併せて提出してください。

(3) 全ての応募書類(推薦状を含む。)の提出が完了していない場合、応募は受け付けられません。

(4) 学位応募システム上で提出先が誤っている場合やEメールへの添付又は持参等、

指定の方法以外で提出された場合、全ての応募書類が揃っていても、応募は受け付けられません。

(5) 締め切り前は応募が集中しますので、余裕をもって提出してください。

(6) 必要書類の欠落(不足)や記入漏れ等があった場合は、審査の対象となりません。また、一度提出した後の差し替え及び訂正は一切認めません。

6. 応募書類の提出期間

2026年9月1日(火)～10月8日(木)13時(日本時間)締切

※【大学取りまとめ応募】の場合、取りまとめ大学が応募者エントリーを行った後に、応募書類の提出が可能となります。

※提出期限を過ぎた場合、いかなる理由があっても応募書類は提出できません。

※提出された応募書類は返却しません。

Ⅷ 審査方法

1. 第一次審査(書面審査)

応募書類に基づき、書面審査を実施します。

書面審査の評価項目は以下を参考にしてください。

- ①志望理由、留学期間中の研究計画の内容
- ②留学終了後の将来計画、日本の国際競争力の強化や国際社会への貢献に資する期待度、留学成果を日本社会へ還元する意識
- ③成績証明書、推薦状等の応募書類の内容

第一次審査(書面審査)の結果は、2027年1月上旬を目途に、応募者全員宛に学位応募システム上で通知します。

※【大学取りまとめ応募】の場合も、応募者本人に学位応募システム上で可否を通知します。取りまとめ大学にもメールにて結果を通知しますが、取りまとめ大学から応募者に可否を通知する必要はありません。

2. 第二次審査(面接審査)

第一次審査(書面審査)の合格者に対してのみ、面接審査を実施します。

面接審査の評価項目は以下を参考にしてください。

- ①留学に向けての動機、熱意、人柄
- ②留学に向けての準備、専門知識
- ③プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力

(1) 面接日程

2027年1月23日(土)から1月25日(月)のいずれか1日(予定)

※面接の日時は書面審査の合格者宛に学位応募システム上で通知します。なお、面接日時の変更はできません。

(2) 実施方法

オンラインで実施を予定

(3) オンライン面接について

オンライン面接に必要な設備(パソコン、ヘッドホン、マイク及びカメラ)や通信環境等は応募者が準備してください。

※オンライン面接審査中の録音・録画や他所への中継をしないこと、事前作成のメモやインターネット検索、AIを利用しないこと、第三者の関与を利用しないこと等、機構が定める環境下で面接を受け、不正行為をしないことに関して事前に同意書の提出を求めます。同意書の内容に反した場合は不合格となります。

(4)特別な配慮の希望

病気・負傷や障害等のために、面接試験受験時に特別な配慮を希望する場合は、早めに、受付センターにご連絡ください。ただし、希望する配慮の内容によっては、医師の診断書等、配慮の根拠となる資料が必要な場合又は対応できない場合がありますのでご了承ください。

3. 採否結果

第二次審査(面接審査)の結果は、2027年3月上旬を目途に、面接受験者全員宛に学位応募システム上で通知します。

※【大学取りまとめ応募】の場合も、応募者本人に学位応募システム上で採否を通知します。取りまとめ大学にもメールにて結果を通知しますが、取りまとめ大学から応募者に採否を通知する必要はありません。

4. その他

審査結果の理由に関する問い合わせには応じかねます。

Ⅸ 採用決定後の重要事項

1. 採用登録

派遣学生として採用された者は、以下のとおり誓約書(所定様式)を取りまとめ大学又は機構に提出してください。

【大学取りまとめ応募】

①採用者は、取りまとめ大学が定める期限までに取りまとめ大学に提出。

②取りまとめ大学は、2027年3月下旬までに、取りまとめ大学登録を行い、機構に提出。

【個人応募】

2027年3月下旬までに採用者登録を行い、機構に提出。

※詳細は採否結果の通知時にお知らせします。

2. 各種報告等の提出

(1)支援期間開始から終了までの各種報告

派遣学生は支援期間中、所定の様式により、定期的に学修・研究状況を機構に報告する必要があります。

例:6か月に1回の留学状況報告及び留学先大学の指導教員による留学評価、年に1回の派遣学生状況調査。

※2028年度以降の支援については、留学状況報告等の内容により、継続の可否を決定します。

(2)支援期間終了後の報告

支援期間終了後1か月以内に学位記や留学成果報告書(所定様式)及び成績証明書を提出する必要があります。

また、フォローアップの一環として、支援期間終了後5年間は、年に1回行う派遣学生状況調査に必ず回答してください。

それ以降についても、派遣学生の進路状況等をフォローアップするために各種報告等を依頼することがあります。本制度の趣旨を十分に理解し、対応してください。

※支援期間中に支援を辞退した場合等も各種報告等の対象となります。

3. 採用の取消し

派遣学生が、次の事項に該当した場合は、派遣学生としての採用を取消し、既に奨学金等を支給している場合にあっては、奨学金等の全部又は一部を返納させることがあ

ります。

- ① IVに掲げる要件を備えなくなったとき
- ② VIIの第4項に定める応募書類の記載事項に虚偽が発見されたとき(応募者本人が作成すべき書類を本人が作成していないことが判明した場合を含む。)
- ③ VIIIの第2項第二次審査(面接審査)において不正が発覚したとき
- ④ 2027 年度中に学位取得のための正式な教育課程に入学したことを確認できないとき(入学許可又は査証の取得に日数を要したことにより、2027 年度中に学修・研究活動を開始することができない場合を含む。)
- ⑤ IXの第1項により提出された誓約書に違反する行為があったと認められるとき
- ⑥ 留学計画の主要部分に変更が生じているとき
- ⑦ 留学先大学を休学、退学していることが判明したとき
- ⑧ 留学先大学を除籍になったとき
- ⑨ 支援期間中の各種申請書類の内容に虚偽があることが認められたとき
- ⑩ IXの第2項により提出された留学状況報告等に基づき、派遣学生本人、留学先大学の指導教員又は機構が、学位取得及び専門分野の研究遂行の可能性がないと判断したとき
- ⑪ 留学先大学の成績が著しく不良となったことが明らかになったとき
- ⑫ 派遣学生としての責務を怠り、派遣学生として適当ではないと機構が判断したとき
- ⑬ その他、上記以外の事項により支援の終了が適当であると認められたとき

4. 支給の休止

派遣学生が次の事項に該当した場合、機構は奨学金等の支給を休止します。また、当該期間に既に機構が奨学金等を支給している場合は、奨学金等を返納させることがあります。

- ① 支援期間開始時又は支援期間中に、外務省の「海外安全ホームページ」上の危険情報又は感染症危険情報のうち「レベル2: 不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域に渡航する又は留学している場合

ただし、レベル2の場合に限り、渡航に係る誓約書等の提出により状況を確認した上で支援を認めることがあります。

- ② その他、後日掲載予定の「手続の手引」に定められた支給要件を満たさない場合

X その他

1. 留学中の安全管理

派遣学生は各自で事前に留学等に関する情報収集に努めてください。留学の際には、現地の安全情報や感染症情報に十分注意してください。留学に関する情報収集の手段として、機構のウェブサイト等を活用してください。また、留学に関する安全情報や感染症情報の収集手段として、外務省「海外安全ホームページ」等を活用してください。

留学先国・地域の状況から安全な留学が困難と認められる場合(感染症を含む。)は、機構が留学の中止・延期又は帰国を要請し、派遣学生への支援を見合わせる場合があります。機構の指示があった場合は速やかに応じてください。また、留学の中止・延期又は帰国に伴い発生する違約金、追加費用等については、派遣学生が負担することとなります。

留学中は、安全管理、健康管理に努めてください。留学中における事故、疾病等に対して、機構は費用の負担や現地でのサポートを行わないので、必ず留学先国・地域や留学先大学で指定された保険や海外旅行保険等に参加してください。

[留学情報等照会先]

○独立行政法人日本学生支援機構

「海外留学情報サイト」 <https://ryugaku.jasso.go.jp/>



[海外安全情報照会先]

○外務省「海外安全ホームページ」 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>



○外務省「領事サービスセンター(海外安全相談班)」

〒100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1 (外務省庁舎内)

TEL : 03-3580-3311(内線 2902、2903)

https://www.anzen.mofa.go.jp/about_center/index.html



[在留届の提出について]

3か月以上外国に留学する日本人は、現地に到着後、住まいを管轄する日本の大使又は総領事館(在外公館)に在留届を提出することになっています。在留届を提出すると、在外公館から現地の治安情勢等、最新の情報が入手できるほか、事件、事故、災害の時に必要な情報が日本語で確認できます。万一、事件等に巻き込まれた場合、素早い支援を受けられます。また、在留届を提出する際、家族のメールアドレスもあわせて登録すると、在外公館から同じ情報が得られます。

○外務省「在留届電子届出システム『ORRnet』」

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>



2. 個人情報の取扱い

提出された個人情報は、本制度実施のために利用します。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、必要に応じて提供します。その他、この利用目的の適正な範囲において、大学・在外公館・行政機関・公益法人及び業務委託先等に必要に応じて提供され、その他の目的には利用しません。

出身の大学等名の情報については、個人が特定できない形で、機構のウェブサイト等で公表することがあります。

3. 留学先国・地域による奨学金月額(別紙1)

4. 海外留学支援制度 学校コード表(別紙2)

5. 各語学能力試験のCEFRとの対応表(別紙3)

6. 特別枠対象大学リスト(別紙4)

7. 特別枠対象分野(別紙5)

本件照会先

【大学取りまとめ応募】の場合

取りまとめ大学

【個人応募】の場合

「海外留学支援制度(学位取得型)受付センター」

(受託者)株式会社コスモピア

E-mail: ryugakushien_jasso@cosmopia.jp

電話: 03-5213-4465 (平日 10 時 00 分～18 時 00 分)

留学先国・地域による奨学金月額

	国・地域コード	国・地域名	区分	単価(円)
アジア	100	台湾	H	177,000
	101	バングラデシュ	H	177,000
	102	ブータン	H	177,000
	103	ブルネイ	D	277,000
	104	カンボジア	H	177,000
	105	中国	F	227,000
	106	香港	B	335,000
	107	インド	H	177,000
	108	インドネシア	H	177,000
	109	大韓民国	F	227,000
	110	ラオス	H	177,000
	111	マカオ	B	335,000
	112	マレーシア	D	277,000
	113	モンゴル	H	177,000
	114	ミャンマー	H	177,000
	115	ネパール	H	177,000
	116	パキスタン	H	177,000
	117	フィリピン	H	177,000
	119	スリランカ	H	177,000
	120	タイ	H	177,000
	121	ベトナム	H	177,000
	123	東ティモール	H	177,000
	124	モルディブ	H	177,000
	191	シンガポール	A	388,000
中南米	201	アルゼンチン	H	177,000
	202	ボリビア	H	177,000
	203	ブラジル	H	177,000
	204	チリ	D	277,000
	205	コロンビア	H	177,000
	206	コスタリカ	H	177,000
	207	キューバ	H	177,000
	208	ドミニカ共和国	H	177,000
	209	エクアドル	H	177,000
	210	エルサルバドル	H	177,000
	211	グアテマラ	H	177,000
	212	ホンジュラス	H	177,000
	213	ジャマイカ	D	277,000
	214	メキシコ	H	177,000

	国・地域コード	国・地域名	区分	奨学金月額単価(円)
中南米	215	ニカラグア	H	177,000
	216	パナマ	H	177,000
	217	パラグアイ	H	177,000
	218	ペルー	H	177,000
	219	トリニダード・トバゴ	H	177,000
	220	ウルグアイ	H	177,000
	221	ベネズエラ	H	177,000
	222	ハイチ	H	177,000
中近東	301	バーレーン	A	388,000
	303	イラン	G	230,000
	304	イラク	G	230,000
	305	イスラエル	A	388,000
	306	ヨルダン	G	230,000
	307	クウェート	G	230,000
	308	レバノン	G	230,000
	309	オマーン	C	330,000
	310	カタール	A	388,000
	311	サウジアラビア	G	230,000
	312	シリア	G	230,000
	313	トルコ	G	230,000
	314	アラブ首長国連邦	A	388,000
	315	イエメン	G	230,000
	316	パレスチナ	G	230,000
	317	アフガニスタン	G	230,000
アフリカ	401	アルジェリア	H	177,000
	402	カメルーン	H	177,000
	403	コンゴ共和国	H	177,000
	404	コートジボワール	H	177,000
	405	エジプト	H	177,000
	406	エチオピア	H	177,000
	407	ガボン	H	177,000
	408	ガーナ	H	177,000
	409	ギニア	H	177,000
	410	ケニア	H	177,000
	411	リベリア	H	177,000
	412	リビア	H	177,000
	413	マダガスカル	H	177,000
	414	モーリタニア	H	177,000
	415	モロッコ	H	177,000

	国・地域コード	国・地域名	区分	奨学金月額単価(円)
アフリカ	416	ナイジェリア	H	177,000
	417	セネガル	H	177,000
	418	南アフリカ	H	177,000
	419	スーダン共和国	H	177,000
	420	タンザニア	H	177,000
	421	チュニジア	H	177,000
	422	コンゴ民主共和国	H	177,000
	423	ザンビア	H	177,000
	424	ジンバブエ	H	177,000
	425	チャド	H	177,000
	426	ウガンダ	H	177,000
	427	ボツワナ	H	177,000
	428	南スーダン共和国	H	177,000
	429	シエラレオネ	H	177,000
	430	モザンビーク	H	177,000
	431	ベナン共和国	H	177,000
	432	ガンビア	H	177,000
	433	ナミビア	H	177,000
	434	ニジェール	H	177,000
	435	マラウイ	H	177,000
	436	ジブチ	H	177,000
	437	ルワンダ	H	177,000
	438	ブルンジ	H	177,000
	439	レソト	H	177,000
北米	501	カナダ	A	388,000
	502	アメリカ合衆国	A	388,000
オセアニア	601	オーストラリア	B	335,000
	602	ニュージーランド	B	335,000
	603	パプアニューギニア	H	177,000
	604	パラオ	H	177,000
	605	マーシャル諸島	H	177,000
	606	ミクロネシア	H	177,000
	607	フィジー諸島	H	177,000
	608	キリバス	H	177,000
	609	ナウル	H	177,000
	610	ソロモン諸島	H	177,000
	611	トンガ	H	177,000
	612	ツバル	H	177,000
	613	バヌアツ	H	177,000

	国・地域コード	国・地域名	区分	奨学金月額単価(円)
オセアニア	614	サモア	H	177,000
	615	クック諸島	H	177,000
	616	ニウエ	H	177,000
	617	トケラウ諸島	H	177,000
	618	ニューカレドニア	H	177,000
ヨーロッパ	701	アルバニア	H	177,000
	702	オーストリア	G	230,000
	703	エストニア	H	177,000
	704	ラトビア	H	177,000
	705	リトアニア	H	177,000
	706	ベルギー	G	230,000
	707	ブルガリア	H	177,000
	708	ベラルーシ	H	177,000
	709	カザフスタン	F	227,000
	710	ウクライナ	H	177,000
	711	ウズベキスタン	H	177,000
	712	クロアチア	H	177,000
	713	チェコ	H	177,000
	714	デンマーク	C	330,000
	715	フィンランド	C	330,000
	716	フランス	G	230,000
	717	ドイツ	G	230,000
	718	ギリシャ	G	230,000
	719	ハンガリー	F	227,000
	720	アイスランド	G	230,000
	721	アイルランド	A	388,000
	722	イタリア	G	230,000
	723	ルクセンブルク	G	230,000
	724	マルタ	E	280,000
	725	北マケドニア	H	177,000
	726	オランダ	C	330,000
	727	ノルウェー	G	230,000
	728	ポーランド	H	177,000
	729	ポルトガル	G	230,000
	730	ルーマニア	H	177,000
	731	ロシア	H	177,000
	732	スロバキア	H	177,000
	733	スロベニア	H	177,000
	734	スペイン	G	230,000

	国・地域コード	国・地域名	区分	奨学金月額単価(円)
ヨーロッパ	735	スウェーデン	C	330,000
	736	スイス	G	230,000
	737	英国	A	388,000
	738	セルビア	H	177,000
	739	ボスニア・ヘルツェゴビナ	H	177,000
	740	キルギス	H	177,000
	741	タジキスタン	H	177,000
	742	モンテネグロ	H	177,000
	743	アゼルバイジャン	H	177,000
	744	リヒテンシュタイン	G	230,000
	745	ジョージア	H	177,000
	746	アルメニア	H	177,000
	747	コソボ	H	177,000
	748	トルクメニスタン	H	177,000
	749	モルドバ	H	177,000
	750	キプロス	E	280,000
その他	000		H	177,000

海外留学支援制度 学校コード表

※個人応募による応募者は、「学校コード」欄には「999999」と記入してください。

	設置形態	学校コード	学校名
1	国立大学	101001	小樽商科大学
2	国立大学	101002	帯広畜産大学
3	国立大学	101003	北海道大学
4	国立大学	101004	北海道教育大学
5	国立大学	101005	室蘭工業大学
6	国立大学	101006	北見工業大学
7	国立大学	101007	旭川医科大学
8	国立大学	102001	弘前大学
9	国立大学	102002	岩手大学
10	国立大学	102003	東北大学
11	国立大学	102004	秋田大学
12	国立大学	102005	山形大学
13	国立大学	102006	福島大学
14	国立大学	102007	宮城教育大学
15	国立大学	103001	茨城大学
16	国立大学	103002	宇都宮大学
17	国立大学	103003	群馬大学
18	国立大学	103004	埼玉大学
19	国立大学	103005	千葉大学
20	国立大学	103006	横浜国立大学
21	国立大学	103007	山梨大学
22	国立大学	103008	信州大学
23	国立大学	103009	新潟大学
24	国立大学	103010	筑波大学
25	国立大学	103011	長岡技術科学大学
26	国立大学	103014	上越教育大学
27	国立大学	103015	総合研究大学院大学
28	国立大学	103016	筑波技術大学
29	国立大学	104001	お茶の水女子大学
30	国立大学	104002	電気通信大学
31	国立大学	104003	東京大学
32	国立大学	104005	東京外国語大学
33	国立大学	104006	東京学芸大学
34	国立大学	104008	東京芸術大学
35	国立大学	104009	東京科学大学
36	国立大学	104012	東京農工大学

	設置形態	学校コード	学校名
37	国立大学	104013	一橋大学
38	国立大学	104014	政策研究大学院大学
39	国立大学	104015	東京海洋大学
40	国立大学	105001	富山大学
41	国立大学	105002	金沢大学
42	国立大学	105003	福井大学
43	国立大学	105004	岐阜大学
44	国立大学	105005	静岡大学
45	国立大学	105006	愛知教育大学
46	国立大学	105007	名古屋大学
47	国立大学	105008	名古屋工業大学
48	国立大学	105009	三重大学
49	国立大学	105010	浜松医科大学
50	国立大学	105012	豊橋技術科学大学
51	国立大学	105014	北陸先端科学技術大学院大学
52	国立大学	106001	滋賀大学
53	国立大学	106002	京都大学
54	国立大学	106003	京都教育大学
55	国立大学	106004	京都工芸繊維大学
56	国立大学	106005	大阪大学
57	国立大学	106007	大阪教育大学
58	国立大学	106008	神戸大学
59	国立大学	106010	奈良教育大学
60	国立大学	106011	奈良女子大学
61	国立大学	106012	和歌山大学
62	国立大学	106013	滋賀医科大学
63	国立大学	106014	兵庫教育大学
64	国立大学	106015	奈良先端科学技術大学院大学
65	国立大学	107001	鳥取大学
66	国立大学	107002	島根大学
67	国立大学	107003	岡山大学
68	国立大学	107004	広島大学
69	国立大学	107005	山口大学
70	国立大学	108001	徳島大学
71	国立大学	108002	香川大学
72	国立大学	108003	愛媛大学
73	国立大学	108004	高知大学
74	国立大学	108007	鳴門教育大学
75	国立大学	109001	九州大学

	設置形態	学校コード	学校名
76	国立大学	109002	九州工業大学
77	国立大学	109003	福岡教育大学
78	国立大学	109004	佐賀大学
79	国立大学	109005	長崎大学
80	国立大学	109006	熊本大学
81	国立大学	109007	大分大学
82	国立大学	109008	宮崎大学
83	国立大学	109009	鹿児島大学
84	国立大学	109011	琉球大学
85	国立大学	109015	鹿屋体育大学
86	公立大学	201001	札幌医科大学
87	公立大学	201002	釧路公立大学
88	公立大学	201003	公立はこだて未来大学
89	公立大学	201004	名寄市立大学
90	公立大学	201005	札幌市立大学
91	公立大学	201006	公立千歳科学技術大学
92	公立大学	201007	旭川市立大学
93	公立大学	202001	福島県立医科大学
94	公立大学	202002	青森公立大学
95	公立大学	202003	会津大学
96	公立大学	202004	宮城大学
97	公立大学	202005	岩手県立大学
98	公立大学	202006	青森県立保健大学
99	公立大学	202007	秋田県立大学
100	公立大学	202008	山形県立保健医療大学
101	公立大学	202009	国際教養大学
102	公立大学	202010	秋田公立美術大学
103	公立大学	202011	山形県立米沢栄養大学
104	公立大学	203001	高崎経済大学
105	公立大学	203002	横浜市立大学
106	公立大学	203003	都留文科大学
107	公立大学	203004	群馬県立女子大学
108	公立大学	203005	茨城県立医療大学
109	公立大学	203006	長野県看護大学
110	公立大学	203007	前橋工科大学
111	公立大学	203009	埼玉県立大学
112	公立大学	203010	新潟県立看護大学
113	公立大学	203011	神奈川県立保健福祉大学
114	公立大学	203012	群馬県立県民健康科学大学

	設置形態	学校コード	学校名
115	公立大学	203013	山梨県立大学
116	公立大学	203014	千葉県立保健医療大学
117	公立大学	203015	新潟県立大学
118	公立大学	203016	長岡造形大学
119	公立大学	203017	長野大学
120	公立大学	203018	長野県立大学
121	公立大学	203020	公立諏訪東京理科大学
122	公立大学	203021	三条市立大学
123	公立大学	203022	川崎市立看護大学
124	公立大学	204004	東京都立大学
125	公立大学	204005	東京都立産業技術大学院大学
126	公立大学	205001	金沢美術工芸大学
127	公立大学	205003	岐阜薬科大学
128	公立大学	205006	名古屋市立大学
129	公立大学	205008	愛知県立大学
130	公立大学	205009	愛知県立芸術大学
131	公立大学	205011	静岡県立大学
132	公立大学	205012	富山県立大学
133	公立大学	205013	福井県立大学
134	公立大学	205015	三重県立看護大学
135	公立大学	205016	石川県立看護大学
136	公立大学	205017	岐阜県立看護大学
137	公立大学	205018	情報科学芸術大学院大学
138	公立大学	205019	石川県立大学
139	公立大学	205020	静岡文化芸術大学
140	公立大学	205021	敦賀市立看護大学
141	公立大学	205022	公立小松大学
142	公立大学	205023	静岡県立農林環境専門職大学
143	公立大学	206001	京都市立芸術大学
144	公立大学	206002	京都府立大学
145	公立大学	206003	京都府立医科大学
146	公立大学	206008	神戸市外国語大学
147	公立大学	206012	奈良県立医科大学
148	公立大学	206013	和歌山県立医科大学
149	公立大学	206014	奈良県立大学
150	公立大学	206017	滋賀県立大学
151	公立大学	206018	神戸市看護大学
152	公立大学	206019	兵庫県立大学
153	公立大学	206020	福知山公立大学

	設置形態	学校コード	学校名
154	公立大学	206021	芸術文化観光専門職大学
155	公立大学	206022	大阪公立大学
156	公立大学	207002	下関市立大学
157	公立大学	207005	山口県立大学
158	公立大学	207007	岡山県立大学
159	公立大学	207008	広島市立大学
160	公立大学	207009	島根県立大学
161	公立大学	207011	尾道市立大学
162	公立大学	207012	県立広島大学
163	公立大学	207013	新見公立大学
164	公立大学	207014	福山市立大学
165	公立大学	207015	公立鳥取環境大学
166	公立大学	207016	山口東京理科大学
167	公立大学	207017	叡啓大学
168	公立大学	207018	周南公立大学
169	公立大学	208001	高知県立大学
170	公立大学	208002	香川県立保健医療大学
171	公立大学	208003	愛媛県立医療技術大学
172	公立大学	208004	高知工科大学
173	公立大学	209001	北九州市立大学
174	公立大学	209002	九州歯科大学
175	公立大学	209003	福岡女子大学
176	公立大学	209004	熊本県立大学
177	公立大学	209005	長崎県立大学
178	公立大学	209006	沖縄県立芸術大学
179	公立大学	209007	福岡県立大学
180	公立大学	209008	宮崎公立大学
181	公立大学	209009	宮崎県立看護大学
182	公立大学	209010	大分県立看護科学大学
183	公立大学	209012	沖縄県立看護大学
184	公立大学	209013	名桜大学
185	私立大学	301001	藤女子大学
186	私立大学	301002	北星学園大学
187	私立大学	301003	北海学園大学
188	私立大学	301004	酪農学園大学
189	私立大学	301005	函館大学
190	私立大学	301006	札幌大学
191	私立大学	301007	北海道科学大学
192	私立大学	301008	札幌学院大学

	設置形態	学校コード	学校名
193	私立大学	301010	北海道医療大学
194	私立大学	301012	北海商科大学
195	私立大学	301014	星槎道都大学
196	私立大学	301015	北海道情報大学
197	私立大学	301016	札幌国際大学
198	私立大学	301017	北翔大学
199	私立大学	301019	北洋大学
200	私立大学	301020	日本赤十字北海道看護大学
201	私立大学	301021	北海道文教大学
202	私立大学	301022	天使大学
203	私立大学	301023	育英館大学
204	私立大学	301024	星槎大学
205	私立大学	301025	札幌大谷大学
206	私立大学	301026	札幌保健医療大学
207	私立大学	301027	日本医療大学
208	私立大学	301028	北海道千歳リハビリテーション大学
209	私立大学	302001	岩手医科大学
210	私立大学	302002	東北学院大学
211	私立大学	302003	東北福祉大学
212	私立大学	302004	東北医科薬科大学
213	私立大学	302005	東北生活文化大学
214	私立大学	302006	宮城学院女子大学
215	私立大学	302007	富士大学
216	私立大学	302008	東北工業大学
217	私立大学	302009	ノースアジア大学
218	私立大学	302010	郡山女子大学
219	私立大学	302011	仙台大学
220	私立大学	302012	青森大学
221	私立大学	302013	柴田学園大学
222	私立大学	302014	弘前学院大学
223	私立大学	302015	奥羽大学
224	私立大学	302016	八戸工業大学
225	私立大学	302017	八戸学院大学
226	私立大学	302018	盛岡大学
227	私立大学	302019	医療創生大学
228	私立大学	302020	石巻専修大学
229	私立大学	302021	東北芸術工科大学
230	私立大学	302022	東日本国際大学
231	私立大学	302023	仙台白百合女子大学

	設置形態	学校コード	学校名
232	私立大学	302024	青森中央学院大学
233	私立大学	302025	東北文化学園大学
234	私立大学	302027	尚絅学院大学
235	私立大学	302028	福島学院大学
236	私立大学	302029	秋田看護福祉大学
237	私立大学	302030	弘前医療福祉大学
238	私立大学	302031	日本赤十字東北看護大学
239	私立大学	302032	東北文教大学
240	私立大学	302033	岩手保健医療大学
241	私立大学	302034	電動モビリティシステム専門職大学
242	私立大学	303001	千葉工業大学
243	私立大学	303002	千葉商科大学
244	私立大学	303003	麗澤大学
245	私立大学	303004	和洋女子大学
246	私立大学	303005	麻布大学
247	私立大学	303006	神奈川大学
248	私立大学	303007	関東学院大学
249	私立大学	303008	鎌倉女子大学
250	私立大学	303009	湘南工科大学
251	私立大学	303010	相模女子大学
252	私立大学	303011	鶴見大学
253	私立大学	303012	山梨学院大学
254	私立大学	303013	流通経済大学
255	私立大学	303014	獨協大学
256	私立大学	303015	跡見学園女子大学
257	私立大学	303016	東京国際大学
258	私立大学	303017	城西大学
259	私立大学	303018	東邦音楽大学
260	私立大学	303019	淑徳大学
261	私立大学	303020	神奈川歯科大学
262	私立大学	303021	フェリス女学院大学
263	私立大学	303022	文教大学
264	私立大学	303023	敬愛大学
265	私立大学	303024	中央学院大学
266	私立大学	303025	東京工芸大学
267	私立大学	303027	茨城キリスト教大学
268	私立大学	303028	足利大学
269	私立大学	303029	日本工業大学
270	私立大学	303030	洗足学園音楽大学

	設置形態	学校コード	学校名
271	私立大学	303031	上武大学
272	私立大学	303032	横浜商科大学
273	私立大学	303033	明海大学
274	私立大学	303035	聖マリアンナ医科大学
275	私立大学	303036	埼玉医科大学
276	私立大学	303037	自治医科大学
277	私立大学	303038	松本歯科大学
278	私立大学	303039	獨協医科大学
279	私立大学	303040	神奈川工科大学
280	私立大学	303041	関東学園大学
281	私立大学	303042	埼玉工業大学
282	私立大学	303043	新潟薬科大学
283	私立大学	303044	産業能率大学
284	私立大学	303045	国際大学
285	私立大学	303046	常磐大学
286	私立大学	303047	国際武道大学
287	私立大学	303048	昭和音楽大学
288	私立大学	303050	白鷗大学
289	私立大学	303051	駿河台大学
290	私立大学	303052	神田外語大学
291	私立大学	303053	帝京平成大学
292	私立大学	303054	聖学院大学
293	私立大学	303055	千葉経済大学
294	私立大学	303056	東京情報大学
295	私立大学	303057	秀明大学
296	私立大学	303058	桐蔭横浜大学
297	私立大学	303059	新潟産業大学
298	私立大学	303060	作新学院大学
299	私立大学	303061	江戸川大学
300	私立大学	303062	聖徳大学
301	私立大学	303063	帝京科学大学
302	私立大学	303064	文京学院大学
303	私立大学	303065	敬和学園大学
304	私立大学	303066	城西国際大学
305	私立大学	303067	東洋学園大学
306	私立大学	303068	東京成徳大学
307	私立大学	303069	つくば国際大学
308	私立大学	303070	目白大学
309	私立大学	303071	清和大学

	設置形態	学校コード	学校名
310	私立大学	303073	新潟経営大学
311	私立大学	303074	新潟国際情報大学
312	私立大学	303075	国際医療福祉大学
313	私立大学	303076	新潟工科大学
314	私立大学	303077	身延山大学
315	私立大学	303078	日本国際学園大学
316	私立大学	303079	十文字学園女子大学
317	私立大学	303080	平成国際大学
318	私立大学	303081	愛国学園大学
319	私立大学	303082	宇都宮共和大学
320	私立大学	303083	文星芸術大学
321	私立大学	303084	共愛学園前橋国際大学
322	私立大学	303085	西武文理大学
323	私立大学	303086	東京福祉大学
324	私立大学	303087	尚美学園大学
325	私立大学	303088	人間総合科学大学
326	私立大学	303089	開智国際大学
327	私立大学	303090	松蔭大学
328	私立大学	303091	新潟青陵大学
329	私立大学	303092	高崎健康福祉大学
330	私立大学	303093	高崎商科大学
331	私立大学	303094	共栄大学
332	私立大学	303095	埼玉学園大学
333	私立大学	303096	ものづくり大学
334	私立大学	303097	長岡大学
335	私立大学	303098	新潟医療福祉大学
336	私立大学	303099	群馬医療福祉大学
337	私立大学	303100	田園調布学園大学
338	私立大学	303101	山梨英和大学
339	私立大学	303103	松本大学
340	私立大学	303104	浦和大学
341	私立大学	303105	清泉大学
342	私立大学	303106	健康科学大学
343	私立大学	303108	日本薬科大学
344	私立大学	303109	武蔵野学院大学
345	私立大学	303110	千葉科学大学
346	私立大学	303111	八洲学園大学
347	私立大学	303113	情報セキュリティ大学院大学
348	私立大学	303114	群馬パース大学

	設置形態	学校コード	学校名
349	私立大学	303116	S B C 東京医療大学
350	私立大学	303117	横浜薬科大学
351	私立大学	303118	開志創造大学
352	私立大学	303119	日本医療科学大学
353	私立大学	303120	新潟リハビリテーション大学
354	私立大学	303121	ぐんま未来大学
355	私立大学	303122	植草学園大学
356	私立大学	303123	三育学院大学
357	私立大学	303124	佐久大学
358	私立大学	303125	S B I 大学院大学
359	私立大学	303126	東都大学
360	私立大学	303127	日本保健医療大学
361	私立大学	303128	横浜美術大学
362	私立大学	303129	日本映画大学
363	私立大学	303130	亀田医療大学
364	私立大学	303131	日本ウェルネススポーツ大学
365	私立大学	303132	横浜創英大学
366	私立大学	303133	湘南医療大学
367	私立大学	303134	長野保健医療大学
368	私立大学	303135	育英大学
369	私立大学	303136	新潟食料農業大学
370	私立大学	303137	長岡崇徳大学
371	私立大学	303138	湘南鎌倉医療大学
372	私立大学	303139	開志専門職大学
373	私立大学	303140	松本看護大学
374	私立大学	303141	アール医療専門職大学
375	私立大学	303142	グローバル B i z 専門職大学
376	私立大学	303143	ビューティ&ウェルネス専門職大学
377	私立大学	304001	青山学院大学
378	私立大学	304002	亜細亜大学
379	私立大学	304004	大妻女子大学
380	私立大学	304005	学習院大学
381	私立大学	304006	北里大学
382	私立大学	304007	共立女子大学
383	私立大学	304009	国立音楽大学
384	私立大学	304010	慶應義塾大学
385	私立大学	304011	工学院大学
386	私立大学	304012	國學院大学
387	私立大学	304013	国際基督教大学

	設置形態	学校コード	学校名
388	私立大学	304014	国士舘大学
389	私立大学	304015	駒澤大学
390	私立大学	304016	実践女子大学
391	私立大学	304017	芝浦工業大学
392	私立大学	304018	順天堂大学
393	私立大学	304019	上智大学
394	私立大学	304020	昭和医科大学
395	私立大学	304021	昭和女子大学
396	私立大学	304022	昭和薬科大学
397	私立大学	304023	日本栄養大学
398	私立大学	304024	女子美術大学
399	私立大学	304025	成蹊大学
400	私立大学	304026	成城大学
401	私立大学	304027	聖心女子大学
402	私立大学	304028	清泉女子大学
403	私立大学	304029	専修大学
404	私立大学	304030	大正大学
405	私立大学	304031	大東文化大学
406	私立大学	304032	高千穂大学
407	私立大学	304033	拓殖大学
408	私立大学	304034	玉川大学
409	私立大学	304035	多摩美術大学
410	私立大学	304036	中央大学
411	私立大学	304037	津田塾大学
412	私立大学	304038	東海大学
413	私立大学	304039	東京医科大学
414	私立大学	304040	東京家政大学
415	私立大学	304041	東京家政学院大学
416	私立大学	304042	東京経済大学
417	私立大学	304043	東京歯科大学
418	私立大学	304044	東京慈恵会医科大学
419	私立大学	304045	東京女子大学
420	私立大学	304046	東京女子医科大学
421	私立大学	304047	東京女子体育大学
422	私立大学	304048	東京神学大学
423	私立大学	304049	東京電機大学
424	私立大学	304050	東京農業大学
425	私立大学	304051	東京薬科大学
426	私立大学	304052	東京理科大学

	設置形態	学校コード	学校名
427	私立大学	304053	東邦大学
428	私立大学	304054	桐朋学園大学
429	私立大学	304055	東洋大学
430	私立大学	304056	東京音楽大学
431	私立大学	304057	二松学舎大学
432	私立大学	304058	日本大学
433	私立大学	304059	日本医科大学
434	私立大学	304060	日本歯科大学
435	私立大学	304061	日本社会事業大学
436	私立大学	304062	日本獣医生命科学大学
437	私立大学	304063	日本女子大学
438	私立大学	304064	日本体育大学
439	私立大学	304065	法政大学
440	私立大学	304066	星薬科大学
441	私立大学	304067	武蔵大学
442	私立大学	304068	東京都市大学
443	私立大学	304069	武蔵野音楽大学
444	私立大学	304070	武蔵野美術大学
445	私立大学	304071	明治大学
446	私立大学	304072	明治学院大学
447	私立大学	304073	明治薬科大学
448	私立大学	304074	立教大学
449	私立大学	304075	立正大学
450	私立大学	304076	早稲田大学
451	私立大学	304077	杉野服飾大学
452	私立大学	304078	聖路加国際大学
453	私立大学	304079	ルーテル学院大学
454	私立大学	304080	文化学園大学
455	私立大学	304081	明星大学
456	私立大学	304082	白百合女子大学
457	私立大学	304083	日本女子体育大学
458	私立大学	304084	武蔵野大学
459	私立大学	304085	桜美林大学
460	私立大学	304086	帝京大学
461	私立大学	304087	東京造形大学
462	私立大学	304088	和光大学
463	私立大学	304089	杏林大学
464	私立大学	304090	創価大学
465	私立大学	304091	東京工科大学

	設置形態	学校コード	学校名
466	私立大学	304092	日本赤十字看護大学
467	私立大学	304100	日本文化大学
468	私立大学	304101	川村学園女子大学
469	私立大学	304102	恵泉女学園大学
470	私立大学	304103	多摩大学
471	私立大学	304104	東洋英和女学院大学
472	私立大学	304105	東京基督教大学
473	私立大学	304106	駒沢女子大学
474	私立大学	304107	国際仏教学大学院大学
475	私立大学	304108	東京純心大学
476	私立大学	304110	嘉悦大学
477	私立大学	304112	東京富士大学
478	私立大学	304114	ＬＥＣ東京リーガルマインド大学院大学
479	私立大学	304115	デジタルハリウッド大学
480	私立大学	304116	白梅学園大学
481	私立大学	304117	東京医療保健大学
482	私立大学	304118	東京聖栄大学
483	私立大学	304119	ビジネス・ブレークスルー大学
484	私立大学	304121	グロービス経営大学院大学
485	私立大学	304123	文化ファッション大学院大学
486	私立大学	304124	大原大学院大学
487	私立大学	304125	東京未来大学
488	私立大学	304127	ハリウッド大学院大学
489	私立大学	304128	こども教育宝仙大学
490	私立大学	304129	東京有明医療大学
491	私立大学	304130	ヤマザキ動物看護大学
492	私立大学	304131	東京医療学院大学
493	私立大学	304132	事業構想大学院大学
494	私立大学	304133	社会構想大学院大学
495	私立大学	304134	東京通信大学
496	私立大学	304135	国際ファッション専門職大学
497	私立大学	304136	東京保健医療専門職大学
498	私立大学	304137	情報経営イノベーション専門職大学
499	私立大学	304138	東京国際工科専門職大学
500	私立大学	304139	大学院大学至善館
501	私立大学	304140	東京情報デザイン専門職大学
502	私立大学	305001	愛知大学
503	私立大学	305002	愛知学院大学
504	私立大学	305003	愛知工業大学

	設置形態	学校コード	学校名
505	私立大学	305004	金城学院大学
506	私立大学	305005	椋山女学園大学
507	私立大学	305006	中京大学
508	私立大学	305007	至学館大学
509	私立大学	305008	同朋大学
510	私立大学	305009	名古屋商科大学
511	私立大学	305010	南山大学
512	私立大学	305011	日本福祉大学
513	私立大学	305012	名城大学
514	私立大学	305013	皇学館大学
515	私立大学	305014	金沢工業大学
516	私立大学	305015	福井工業大学
517	私立大学	305016	大同大学
518	私立大学	305017	中部大学
519	私立大学	305018	名古屋学院大学
520	私立大学	305019	名古屋葵大学
521	私立大学	305020	愛知学泉大学
522	私立大学	305021	金沢星稜大学
523	私立大学	305022	岐阜協立大学
524	私立大学	305023	岐阜女子大学
525	私立大学	305024	藤田医科大学
526	私立大学	305025	名古屋芸術大学
527	私立大学	305026	朝日大学
528	私立大学	305027	愛知医科大学
529	私立大学	305028	金沢医科大学
530	私立大学	305029	岐阜聖徳学園大学
531	私立大学	305030	北陸大学
532	私立大学	305031	愛知淑徳大学
533	私立大学	305032	名古屋音楽大学
534	私立大学	305033	名古屋経済大学
535	私立大学	305034	常葉大学
536	私立大学	305035	東海学院大学
537	私立大学	305036	豊田工業大学
538	私立大学	305038	金沢学院大学
539	私立大学	305040	名古屋外国語大学
540	私立大学	305041	四日市大学
541	私立大学	305042	高岡法科大学
542	私立大学	305043	富山国際大学
543	私立大学	305044	名古屋造形大学

	設置形態	学校コード	学校名
544	私立大学	305045	静岡理工科大学
545	私立大学	305046	鈴鹿医療科学大学
546	私立大学	305047	聖隷クリストファー大学
547	私立大学	305048	愛知産業大学
548	私立大学	305049	中京学院大学
549	私立大学	305050	愛知みずほ大学
550	私立大学	305051	静岡産業大学
551	私立大学	305052	鈴鹿大学
552	私立大学	305053	東海学園大学
553	私立大学	305054	豊橋創造大学
554	私立大学	305055	中部学院大学
555	私立大学	305056	愛知文教大学
556	私立大学	305057	桜花学園大学
557	私立大学	305058	桐朋学園大学院大学
558	私立大学	305059	名古屋文理大学
559	私立大学	305060	金城大学
560	私立大学	305063	愛知工科大学
561	私立大学	305064	名古屋産業大学
562	私立大学	305065	人間環境大学
563	私立大学	305066	仁愛大学
564	私立大学	305067	愛知東邦大学
565	私立大学	305068	静岡英和学院大学
566	私立大学	305069	星城大学
567	私立大学	305070	名古屋学芸大学
568	私立大学	305071	静岡福祉大学
569	私立大学	305072	浜松学院大学
570	私立大学	305074	日本赤十字豊田看護大学
571	私立大学	305075	光産業創成大学院大学
572	私立大学	305076	岐阜医療科学大学
573	私立大学	305077	四日市看護医療大学
574	私立大学	305078	北陸学院大学
575	私立大学	305079	修文大学
576	私立大学	305080	岡崎大学
577	私立大学	305081	一宮研伸大学
578	私立大学	305082	福井医療大学
579	私立大学	305083	岐阜保健大学
580	私立大学	305084	名古屋柳城女子大学
581	私立大学	305085	かなざわ食マネジメント専門職大学
582	私立大学	306001	大谷大学

	設置形態	学校コード	学校名
583	私立大学	306002	京都外国語大学
584	私立大学	306003	京都女子大学
585	私立大学	306004	京都薬科大学
586	私立大学	306005	種智院大学
587	私立大学	306006	同志社大学
588	私立大学	306007	同志社女子大学
589	私立大学	306008	京都ノートルダム女子大学
590	私立大学	306009	花園大学
591	私立大学	306010	佛教大学
592	私立大学	306011	立命館大学
593	私立大学	306012	龍谷大学
594	私立大学	306013	大阪医科薬科大学
595	私立大学	306014	大阪音楽大学
596	私立大学	306015	大阪学院大学
597	私立大学	306016	大阪経済大学
598	私立大学	306017	大阪工業大学
599	私立大学	306018	大阪歯科大学
600	私立大学	306019	大阪樟蔭女子大学
601	私立大学	306020	大阪商業大学
602	私立大学	306021	大阪電気通信大学
603	私立大学	306023	関西大学
604	私立大学	306024	関西医科大学
605	私立大学	306025	近畿大学
606	私立大学	306026	相愛大学
607	私立大学	306027	桃山学院大学
608	私立大学	306029	関西学院大学
609	私立大学	306030	甲南大学
610	私立大学	306031	神戸女学院大学
611	私立大学	306032	神戸薬科大学
612	私立大学	306033	武庫川女子大学
613	私立大学	306034	天理大学
614	私立大学	306035	高野山大学
615	私立大学	306036	京都光華大学
616	私立大学	306037	京都産業大学
617	私立大学	306038	大阪芸術大学
618	私立大学	306039	梅花女子大学
619	私立大学	306040	大阪産業大学
620	私立大学	306041	大阪体育大学
621	私立大学	306043	阪南大学

	設置形態	学校コード	学校名
622	私立大学	306044	芦屋大学
623	私立大学	306045	甲南女子大学
624	私立大学	306047	神戸海星女子学院大学
625	私立大学	306048	帝塚山大学
626	私立大学	306049	追手門学院大学
627	私立大学	306050	大阪大谷大学
628	私立大学	306051	関西外国語大学
629	私立大学	306052	帝塚山学院大学
630	私立大学	306053	大手前大学
631	私立大学	306054	神戸女子大学
632	私立大学	306055	神戸学院大学
633	私立大学	306056	神戸松蔭大学
634	私立大学	306057	神戸親和大学
635	私立大学	306058	園田学園大学
636	私立大学	306059	京都橘大学
637	私立大学	306060	四天王寺大学
638	私立大学	306061	甲子園大学
639	私立大学	306062	神戸国際大学
640	私立大学	306063	京都先端科学大学
641	私立大学	306064	奈良大学
642	私立大学	306065	大阪経済法科大学
643	私立大学	306066	兵庫医科大学
644	私立大学	306067	摂南大学
645	私立大学	306068	京都精華大学
646	私立大学	306069	明治国際医療大学
647	私立大学	306070	奈良学園大学
648	私立大学	306071	宝塚大学
649	私立大学	306072	姫路獨協大学
650	私立大学	306073	大阪国際大学
651	私立大学	306074	流通科学大学
652	私立大学	306075	神戸芸術工科大学
653	私立大学	306076	京都芸術大学
654	私立大学	306077	成安造形大学
655	私立大学	306078	兵庫大学
656	私立大学	306079	京都文教大学
657	私立大学	306081	関西福祉科学大学
658	私立大学	306082	関西福祉大学
659	私立大学	306083	太成学院大学
660	私立大学	306084	関西国際大学

	設置形態	学校コード	学校名
661	私立大学	306085	大阪常磐会大学
662	私立大学	306087	平安女学院大学
663	私立大学	306089	大阪観光大学
664	私立大学	306090	神戸医療未来大学
665	私立大学	306091	嵯峨美術大学
666	私立大学	306092	大阪人間科学大学
667	私立大学	306093	羽衣国際大学
668	私立大学	306094	聖泉大学
669	私立大学	306095	長浜バイオ大学
670	私立大学	306096	びわこ成蹊スポーツ大学
671	私立大学	306097	大阪成蹊大学
672	私立大学	306098	関西医療大学
673	私立大学	306099	千里金蘭大学
674	私立大学	306100	東大阪大学
675	私立大学	306101	畿央大学
676	私立大学	306102	大阪女学院大学
677	私立大学	306103	藍野大学
678	私立大学	306104	京都情報大学院大学
679	私立大学	306105	大阪青山大学
680	私立大学	306106	四條畷学園大学
681	私立大学	306108	神戸情報大学院大学
682	私立大学	306109	和泉大学
683	私立大学	306110	大阪総合保育大学
684	私立大学	306111	関西看護医療大学
685	私立大学	306113	京都医療科学大学
686	私立大学	306114	森ノ宮医療大学
687	私立大学	306117	姫路大学
688	私立大学	306118	神戸常盤大学
689	私立大学	306119	びわこ学院大学
690	私立大学	306120	大阪保健医療大学
691	私立大学	306121	京都華頂大学
692	私立大学	306122	大阪物療大学
693	私立大学	306123	宝塚医療大学
694	私立大学	306124	滋慶医療科学大学
695	私立大学	306125	京都美術工芸大学
696	私立大学	306126	大阪行岡医療大学
697	私立大学	306128	京都看護大学
698	私立大学	306129	大和大学
699	私立大学	306130	和歌山信愛大学

	設置形態	学校コード	学校名
700	私立大学	306131	びわこリハビリテーション専門職大学
701	私立大学	306133	和歌山リハビリテーション専門職大学
702	私立大学	306134	大阪信愛学院大学
703	私立大学	307001	ノートルダム清心女子大学
704	私立大学	307002	エリザベト音楽大学
705	私立大学	307003	広島工業大学
706	私立大学	307004	広島修道大学
707	私立大学	307005	広島女学院大学
708	私立大学	307006	岡山理科大学
709	私立大学	307007	岡山商科大学
710	私立大学	307008	くらしき作陽大学
711	私立大学	307009	広島文教大学
712	私立大学	307010	安田女子大学
713	私立大学	307011	美作大学
714	私立大学	307012	広島経済大学
715	私立大学	307014	梅光学院大学
716	私立大学	307015	川崎医科大学
717	私立大学	307017	東亜大学
718	私立大学	307018	福山大学
719	私立大学	307019	就実大学
720	私立大学	307020	吉備国際大学
721	私立大学	307021	川崎医療福祉大学
722	私立大学	307022	山陽学園大学
723	私立大学	307023	比治山大学
724	私立大学	307024	福山平成大学
725	私立大学	307025	倉敷芸術科学大学
726	私立大学	307026	広島文化学園大学
727	私立大学	307028	広島国際大学
728	私立大学	307029	至誠館大学
729	私立大学	307030	日本赤十字広島看護大学
730	私立大学	307033	岡山学院大学
731	私立大学	307034	中国学園大学
732	私立大学	307035	宇部フロンティア大学
733	私立大学	307036	環太平洋大学
734	私立大学	307037	山口学芸大学
735	私立大学	307038	広島都市学園大学
736	私立大学	307039	鳥取看護大学
737	私立大学	307040	岡山医療専門職大学
738	私立大学	308001	四国学院大学

	設置形態	学校コード	学校名
739	私立大学	308002	松山大学
740	私立大学	308003	四国大学
741	私立大学	308004	徳島文理大学
742	私立大学	308005	聖カタリナ大学
743	私立大学	308006	松山東雲女子大学
744	私立大学	308007	高松大学
745	私立大学	308009	高知リハビリテーション専門職大学
746	私立大学	308010	高知学園大学
747	私立大学	309001	九州産業大学
748	私立大学	309002	九州女子大学
749	私立大学	309003	久留米大学
750	私立大学	309004	西南学院大学
751	私立大学	309005	第一薬科大学
752	私立大学	309006	福岡大学
753	私立大学	309007	福岡工業大学
754	私立大学	309008	九州国際大学
755	私立大学	309009	熊本学園大学
756	私立大学	309010	別府大学
757	私立大学	309011	鹿児島国際大学
758	私立大学	309012	九州共立大学
759	私立大学	309013	中村学園大学
760	私立大学	309014	長崎総合科学大学
761	私立大学	309016	西日本工業大学
762	私立大学	309017	崇城大学
763	私立大学	309018	日本文理大学
764	私立大学	309019	南九州大学
765	私立大学	309020	日本経済大学
766	私立大学	309021	西九州大学
767	私立大学	309022	第一工科大学
768	私立大学	309023	沖縄大学
769	私立大学	309024	沖縄国際大学
770	私立大学	309026	福岡歯科大学
771	私立大学	309027	尚絅大学
772	私立大学	309028	久留米工業大学
773	私立大学	309029	産業医科大学
774	私立大学	309030	志學館大学
775	私立大学	309031	活水女子大学
776	私立大学	309032	宮崎産業経営大学
777	私立大学	309033	筑紫女学園大学

	設置形態	学校コード	学校名
778	私立大学	309034	福岡女学院大学
779	私立大学	309035	西南女学院大学
780	私立大学	309036	長崎純心大学
781	私立大学	309037	宮崎国際大学
782	私立大学	309038	鹿児島純心大学
783	私立大学	309040	九州ルーテル学院大学
784	私立大学	309041	九州情報大学
785	私立大学	309043	九州看護福祉大学
786	私立大学	309044	九州医療科学大学
787	私立大学	309045	長崎国際大学
788	私立大学	309046	立命館アジア太平洋大学
789	私立大学	309047	九州栄養福祉大学
790	私立大学	309048	日本赤十字九州国際看護大学
791	私立大学	309049	長崎外国語大学
792	私立大学	309050	平成音楽大学
793	私立大学	309052	鎮西学院大学
794	私立大学	309053	熊本保健科学大学
795	私立大学	309054	沖縄キリスト教学院大学
796	私立大学	309055	聖マリア学院大学
797	私立大学	309056	福岡女学院看護大学
798	私立大学	309058	純真学園大学
799	私立大学	309059	サイバー大学
800	私立大学	309060	沖縄科学技術大学院大学
801	私立大学	309061	福岡看護大学
802	私立大学	309062	福岡国際医療福祉大学
803	私立大学	309063	令和健康科学大学
804	私立大学	303049	放送大学
805	私立大学	202012	東北農林専門職大学
806	私立大学	301029	北海道武蔵女子大学
807	私立大学	302035	仙台青葉学院大学
808	私立大学	305087	愛知医療学院大学
809	私立大学	308011	高知健康科学大学
810	私立大学	205024	静岡社会健康医学大学院大学
811	私立大学	303144	Z E N大学
812	私立大学	303145	教育テック大学院大学
813	私立大学	304141	東京経営大学
814	私立大学	202013	東北公益文科大学
815	私立大学	305088	コー・イノベーション大学
816	私立大学	306135	大阪医療大学

	設置形態	学校コード	学校名
817	私立大学	309064	武雄アジア大学
818	私立大学	309065	福岡国際音楽大学
819	私立大学	309066	西日本看護医療大学

各語学能力試験の CEFR との対応表

言語	試験名	B2	C1	C2
フランス語	DELF・DALF	DELF B2	DALF C1	DALF C2
フランス語	TCF	400-499 (10-13/20)	500-599 (14-17/20)	600- 699 (18-20/20)
ドイツ語	Goethe Institut, Goethe Zertifikat	B2	C1	C2
ドイツ語	Test DaF	TDN3, TDN4	TDN4, TDN5	-
ドイツ語	DSH	DSH1	DSH2	DSH3
ドイツ語	ÖSD	ÖSD Zertifikat B2	ÖSD Zertifikat C1	ÖSD Zertifikat C2
オランダ語	CNaVT	Educatief (STRT) - B2	Educatief Professioneel (EDUP) - C1	-
スペイン語	DELE	Nivel B2	Nivel C1	Nivel C2
スペイン語	SIELE	B2	C1	-
イタリア語	CILS	CILS DUE B2	CILS TRE C1	CILS QUATTRO C2
イタリア語	CELI	CELI3	CELI4	CELI5
イタリア語	PLIDA	PLIDA B2	PLIDA C1	PLIDA C2
ロシア語	ТРК И	ТРК И-II (B2)	ТРК И-III (C1)	ТРК И-IV (C2)
中国語	漢語水平考試(HSK)	4級	5級	6級
中国語	華語文能力測驗 (TOCFL)	高階級	流利級	精通級
韓国語	韓国語能力試験 (TOPIK)	4級	5級	6級

特別枠対象大学リスト

特別枠 コード	大学名	国・地域	奨学金月額 (目安)
50201	California Institute of Technology	アメリカ合衆国	833,000 円
50202	Carnegie Mellon University		
50203	Columbia University in the City of New York		
50204	Cornell University		
50205	Duke University		
50206	Harvard University		
50207	Johns Hopkins University		
50208	Massachusetts Institute of Technology		
50209	New York University		
50210	Northwestern University		
50211	Princeton University		
50212	Stanford University		
50213	University of Chicago		
50214	University of California Berkeley		
50215	University of California Los Angeles		
50216	University of Michigan – Ann Arbor		
50217	University of Pennsylvania		
50218	University of Washington		
50219	Yale University		
73720	Imperial College London	英国	771,000 円
73722	The University of Edinburgh		
73724	UCL – University of London		
73725	University of Cambridge		
73726	University of Oxford		
50127	McGill University	カナダ	388,000 円
50128	University of Toronto		
19129	Nanyang Technological University	シンガポール	771,000 円
19130	National University of Singapore		
60131	The Australian National University	オーストラリア	584,000 円
60132	University of Melbourne		
60133	University of New South Wales		
60134	The University of Sydney		
10635	The University of Hong Kong	香港	456,000 円
10536	Peking University	中国	227,000 円
10537	Tsinghua University		
10543	Fudan University		
71739	Technical University of Munich	ドイツ	230,000 円
71640	PSL University	フランス	262,000 円
73641	Swiss Federal Institute of Technology of Lausanne	スイス	262,000 円
73642	Swiss Federal Institute of Technology Zurich		

※教育面を含めた総合的な指標を用いたランキング(直近3年以内)において上位30位以内の大学から作成

※上記金額はあくまで2026年度実績に基づく目安です。

特別枠対象分野

コード	大区分	中区分	学問分野
11	大区分 B	中区分 11	代数学、幾何学およびその関連分野
12	大区分 B	中区分 12	解析学、応用数学およびその関連分野
13	大区分 B	中区分 13	物性物理学およびその関連分野
14	大区分 B	中区分 14	プラズマ学およびその関連分野
15	大区分 B	中区分 15	素粒子、原子核、宇宙物理学およびその関連分野
16	大区分 B	中区分 16	天文学およびその関連分野
17	大区分 B	中区分 17	地球惑星科学およびその関連分野
18	大区分 C	中区分 18	材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野
19	大区分 C	中区分 19	流体力学、熱工学およびその関連分野
20	大区分 C	中区分 20	機械力学、ロボティクスおよびその関連分野
21	大区分 C	中区分 21	電気電子工学およびその関連分野
22	大区分 C	中区分 22	土木工学およびその関連分野
23	大区分 C	中区分 23	建築学およびその関連分野
24	大区分 C	中区分 24	航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野
25	大区分 C	中区分 25	社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野
26	大区分 D	中区分 26	材料工学およびその関連分野
27	大区分 D	中区分 27	化学工学およびその関連分野
28	大区分 D	中区分 28	ナノマイクロ科学およびその関連分野
29	大区分 D	中区分 29	応用物理物性およびその関連分野
30	大区分 D	中区分 30	応用物理工学およびその関連分野
31	大区分 D	中区分 31	原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野
32	大区分 D	中区分 90	人間医工学およびその関連分野
33	大区分 E	中区分 32	物理化学、機能物性化学およびその関連分野
34	大区分 E	中区分 33	有機化学およびその関連分野
35	大区分 E	中区分 34	無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野
36	大区分 E	中区分 35	高分子、有機材料およびその関連分野
37	大区分 E	中区分 36	無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野
38	大区分 E	中区分 37	生体分子化学およびその関連分野
39	大区分 F	中区分 38	農芸化学およびその関連分野

コード	大区分	中区分	学問分野
40	大区分 F	中区分 39	生産環境農学およびその関連分野
41	大区分 F	中区分 40	森林圏科学、水圏応用科学およびその関連分野
42	大区分 F	中区分 41	社会経済農学、農業工学およびその関連分野
43	大区分 F	中区分 42	獣医学、畜産学およびその関連分野
44	大区分 G	中区分 43	分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野
45	大区分 G	中区分 44	細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野
46	大区分 G	中区分 45	個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野
47	大区分 G	中区分 46	神経科学およびその関連分野
48	大区分 H	中区分 47	薬学およびその関連分野
49	大区分 H	中区分 48	生体の構造と機能およびその関連分野
50	大区分 H	中区分 49	病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野
51	大区分 I	中区分 50	腫瘍学およびその関連分野
52	大区分 I	中区分 51	ブレインサイエンスおよびその関連分野
53	大区分 I	中区分 52	内科学一般およびその関連分野
54	大区分 I	中区分 53	器官システム内科学およびその関連分野
55	大区分 I	中区分 54	生体情報内科学およびその関連分野
56	大区分 I	中区分 55	恒常性維持器官の外科学およびその関連分野
57	大区分 I	中区分 56	生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野
58	大区分 I	中区分 57	口腔科学およびその関連分野
59	大区分 I	中区分 58	社会医学、看護学およびその関連分野
60	大区分 I	中区分 59	スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野
61	大区分 I	中区分 90	人間医工学およびその関連分野
62	大区分 J	中区分 60	情報科学、情報工学およびその関連分野
63	大区分 J	中区分 61	人間情報学およびその関連分野
64	大区分 J	中区分 62	応用情報学およびその関連分野
65	大区分 K	中区分 63	環境解析評価およびその関連分野
66	大区分 K	中区分 64	環境保全対策およびその関連分野

この分類は、日本学術振興会の科学研究助成事業の審査区分表に対応しています。
 それぞれの区分に含まれる内容の例は、参考 URL を参照してください。
 参考 URL (日本学術振興会 科学研究費助成事業 審査区分表等)
https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html
 ※中区分 90 は大分類 D,I 双方に属している

2027年度海外留学支援制度（大学院学位取得型）

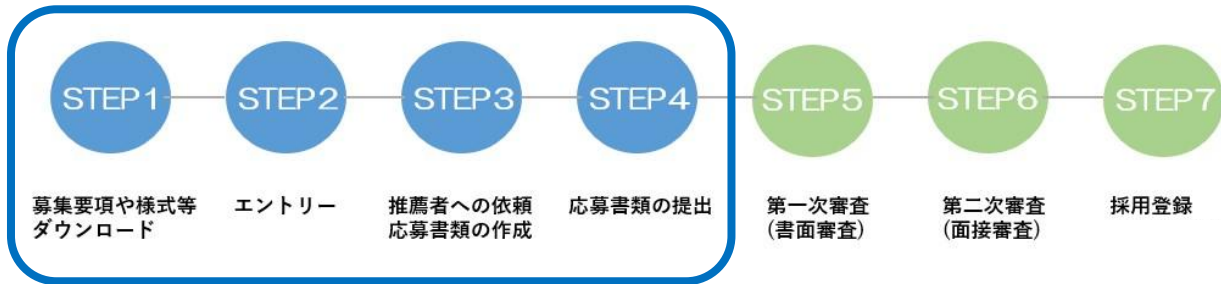
申請の手引～応募書類の作成方法と注意事項～

目次

0. 全体の流れ.....	2
1. 注意事項及び照会先.....	3
【大学取りまとめ応募と個人応募】	3
【応募時の注意】	3
【書類作成時の注意（全応募書類共通）】	4
2. 応募書類の各様式のダウンロード.....	5
3. エントリー.....	5
4. 応募書類の作成.....	5
4-1. 応募書類一覧.....	5
4-2. 応募書類の作成・提出方法等.....	6
4-2-1. 応募者が作成又は準備（入手）するもの：①～⑬.....	6
①応募者の顔写真.....	6
②様式1：願書.....	6
③様式2-1・様式2-2：留学先大学情報【第1希望・第2希望】	6
④様式2別添：留学先大学情報【第1希望・第2希望】の根拠書類.....	8
⑤様式3：業績等について.....	19
⑥様式4：研究計画及び修了後の進路計画書.....	19
⑦様式5：日本社会への貢献について.....	19
⑧様式3別添：代表的論文の抜粋.....	20
⑨パスポート（又は在留カード（両面））	22
⑩語学能力試験証明書.....	23
⑪大学学部以降の卒業（修了）証明書（又は見込み証明書）	26
⑫大学学部以降の公式の学業成績証明書（【該当者のみ】様式リー1又は様式リー2）	27
⑬大学学部以降の学業成績証明書に対応した成績評価基準（Grading System）	38
4-2-2. 応募者が作成を依頼し、依頼された者が提出するもの：⑭.....	40
⑭推薦状（2通）	40
5. 応募書類チェックリスト	41

0. 全体の流れ

「募集要項」をよく読み、応募書類は、本紙「2027 年度海外留学支援制度（大学院学位取得型）申請の手引」（以下「申請の手引」という。）に従って準備・作成してください。なお、応募受付のスケジュールについては、「募集要項Ⅵ 応募受付・審査実施日程」を必ず確認してください。



STEP 1	日本学生支援機構のウェブサイトから、募集要項や応募書類の各様式、申請の手引、募集要項補足Q&Aをダウンロードする。
--------	---



STEP 2	《大学取りまとめ応募》 ① <u>大学担当者が取りまとめ大学の事前登録</u>を行う。（昨年度（2026年度募集）に事前登録・応募者エントリーを行った場合、再度の事前登録は不要） ※9/29（火）13時（日本時間）まで ② <u>大学担当者が応募者エントリー用システムから応募者エントリー</u>を行うことで、応募者は、ID（選考管理番号）、学位応募システムのURL、推薦状提出フォームのURLを入手する。 ※10/1（木）13時（日本時間）まで	《個人応募》 ・ <u>応募者がエントリーページからエントリー</u>を行い、ID（選考管理番号）、学位応募システムのURL、推薦状提出フォームのURLを入手する。 ※10/1（木）13時（日本時間）まで
--------	--	---



STEP 3	推薦者への依頼 - 推薦者宛のご案内「推薦状の提出について」（別添）を渡す。 - ID（選考管理番号）、推薦状提出フォームのURLを伝える。 →推薦者は、推薦状提出フォームから推薦状を提出する。 ※10/8（木）13時（日本時間）まで	応募書類の作成 - 顔写真データを用意する。 - 願書（様式1, 様式2）、記述（様式3, 様式4, 様式5）ファイルを作成する。 - 所定の台紙及びその他必要な書類の作成又は準備（入手）をする。
--------	---	---



STEP4	「応募書類チェックリスト」（本紙41ページ）を使用して、必要な書類に漏れがないか最終確認を行った上で、作成した応募書類を学位応募システムから提出する。 ※10/8（木）13時（日本時間）まで
-------	--



STEP5	第一次審査（書面審査）
STEP6	第二次審査（面接審査） ※第一次審査（書面審査）合格者のみ
STEP7	採用登録 ※派遣学生として採用された者のみ

1. 注意事項及び照会先

【大学取りまとめ応募と個人応募】

大学取りまとめ応募と個人応募の応募時の違いは、エントリーの方法と照会先です。応募書類や提出方法は同じです。どちらの方が合格しやすいということはありません。

【応募時の注意】

《大学取りまとめ応募》

- 1：大学担当者が応募者エントリー（応募者情報として氏名やEメールアドレス、電話番号の登録）を行うと、登録された応募者のEメールアドレス宛にID（選考管理番号）及び学位応募システムの案内等が届きます。
- 2：機構が定める応募者エントリー期間とは別に、取りまとめ大学が定める応募申請期間があります。必ず取りまとめ大学に確認してください。

《個人応募》

応募者はまずエントリーをしてください。エントリー期限（10月1日（木）13時（日本時間））を過ぎた場合、いかなる理由でも応募は受け付けません。

《大学取りまとめ応募・個人応募 共通》

- 1：推薦者が推薦状を提出するにあたり、エントリー後に発行されるID（選考管理番号）や推薦状提出フォームURLを伝える必要があるため、締切に間に合うように余裕をもってエントリーをしてください。
- 2：応募書類の受付はオンラインによる提出のみです。Eメールへの添付又は持参による提出等、指定の方法以外での応募書類の提出は一切認めません。
- 3：応募書類の不備、欠落（不足）や記入漏れ等がある場合は、審査の対象となりません。提出前に必ず、不備等がないかをよく確認してください。
- 4：提出期限の直前はアクセスが集中します。アクセスの集中やインターネット環境の不具合が原因で、学位応募システムによる応募書類の提出ができなかった場合でも、救済措置はありません。提出期限直前に慌てることがないように、余裕をもって提出してください。
- 5：学位応募システムでの応募書類提出期限（10月8日（木）13時（日本時間））を過ぎると、エ

ントリーしていても応募書類を学位応募システム上でアップロードできなくなります。提出期限を過ぎた場合、いかなる理由でも応募は受け付けません。

- 6：応募書類の提出は締切厳守です。提出期限に間に合わない書類があっても、後から提出することはできません。
- 7：学位応募システム上で提出先が誤っている場合（願書提出用のリンクに語学能力試験証明書を提出した場合等）は、全ての応募書類が揃っていても、応募は受け付けられません。
- 8：一度学位応募システムでアップロードして提出されると、提出用リンクが表示されなくなります。再エントリーや応募書類の差し替え・訂正は一切認めません。提出前にアップロードするファイルに誤り等がないかよく確認してください。
- 9：一度学位応募システムでアップロードした書類をシステム上で確認することはできません。提出書類については、提出前にご自身の端末等にバックアップを取っておくことを推奨します。
- 10：書類が問題なく提出されているかの確認等の問い合わせには、一切対応しません。なお、推薦状の提出状況は、学位応募システム上で確認できます。

【書類作成時の注意（全応募書類共通）】

※各応募書類の作成時の注意については「4－2. 応募書類の作成・提出方法等」を参照すること

- 1：応募者が作成する必要がある応募書類は、全て自分の力で応募者本人が作成してください。
- 2：2027年度募集用の様式を使用して作成してください。
- 3：「4－2－1. 応募者が作成又は準備（入手）するもの：①～⑬」で「台紙」が必要とされている書類は、必要事項を記入した台紙とともにPDF化してください。
- 4：日本語以外で記載された書類を提出する場合は、必ず和訳を追記（又は別添）してください。（英文の成績証明書及び成績評価基準は和訳不要）
- 5：応募者が作成する応募書類の文字のサイズは、審査委員が読みやすいように、10ポイント以上に設定してください。文字が小さく判読できない場合は、書類不備として審査対象外とします。
- 6：全てのファイルを「A4判」で作成してください。A4判よりも小さなサイズの証明書等をスキャンする場合は、A4判用紙に貼付する等して、サイズを統一してください。
- 7：両面印刷されている証明書等については、片面だけでなく、両面ともPDF化されていることを確認してください。応募書類に欠落（不足）がないように、応募書類を全て片面印刷してから、スキャンすることを推奨します。
- 8：様式の順番、ファイル形式を変更しないでください。応募書類作成後はA4判に印刷し、入力した文字や文章及び様式に貼付したスクリーンショット（画像）が全て明瞭に表示されていることを必ず確認してください。不明瞭な場合は、書類不備として審査対象外とします。

本件照会先

【大学取りまとめ応募】の場合

取りまとめ大学

【個人応募】の場合

「海外留学支援制度（学位取得型）受付センター」（受託者）株式会社コスモピア

E-mail：ryugakushien_jasso@cosmopia.jp

電話：03-5213-4465（平日10時00分～18時00分）

2. 応募書類の各様式のダウンロード

応募書類の各様式は、機構のウェブサイトから一括ダウンロードしてください。

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/daigakuin/2027.html



3. エントリー

《大学取りまとめ応募》

取りまとめ大学担当者が応募者エントリーを行います。エントリーが完了すると、応募者のEメールアドレス宛にID（選考管理番号）と学位応募システムのURL、推薦状提出フォームのURLが届きます。

《個人応募》

以下のエントリーページから登録を行ってください。エントリーが完了すると、登録したEメールアドレス宛に、ID（選考管理番号）と学位応募システムのURL、推薦状提出フォームのURLが届きます。

<https://jasso-gakuiiryugaku.snar.jp/entry.aspx?entryid=8b4952e5-6cb8-43ed-b00e-8028d7035760>



4. 応募書類の作成

応募書類の作成前に、「募集要項Ⅲ 支援対象となる留学計画・Ⅳ 資格要件・Ⅶ 応募方法」を必ず確認してください。応募者の記入事項と根拠書類の記載内容が一致していない等の疑義がある場合は、根拠書類の記載内容を優先的に審査します。不一致がないように注意深く応募書類を作成してください。

4-1. 応募書類一覧

以下の書類を作成・準備（入手）、提出してください。

※本紙のNo.は、「募集要項Ⅶ 応募方法 4. 応募書類」の①～⑭と対応しています。

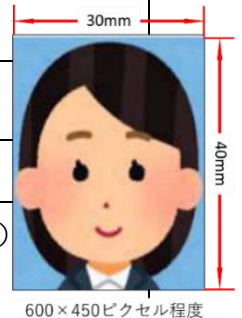
No.	応募書類一覧	参照
①	応募者の顔写真	P.6
②	様式1：願書	P.6-7
③	様式2-1・様式2-2：留学先大学情報【第1希望・第2希望】 （様式2-3・様式2-4：留学先大学情報【第3希望・第4希望】）	P.6-7
④	様式2別添：留学先大学情報【第1希望・第2希望】の根拠書類	P.8-18
⑤	様式3：業績等について	P.19
⑥	様式4：研究計画及び修了後の進路計画書	P.19
⑦	様式5：日本社会への貢献について	P.19
⑧	様式3別添：代表的論文の抜粋	P.20-21
⑨	パスポート（又は在留カード（両面））	P.22
⑩	語学能力試験証明書	P.23-25
⑪	大学学部以降の卒業（修了）証明書（又は見込み証明書）	P.26
⑫	大学学部以降の公式の学業成績証明書	P.27-37
⑬	大学学部以降の学業成績証明書に対応した成績評価基準（Grading System）	P.38-39
⑭	推薦状（2通）	P.40

4-2. 応募書類の作成・提出方法等

各書類の記載要領や記入例を必ず確認し、注意事項に従って、書類を作成してください。ファイルサイズの上限は①応募者の顔写真、④様式2別添は各3MBまで、その他の応募書類は各2MBまでです。応募書類を提出する際は、指定されたファイル名に変更してください。（「KA*****」の「*」はID（選考管理番号）の下8桁とする）また、台紙のみ提出となる場合も、必ず学位応募システムから指定のリンクにアップロードしてください。

4-2-1. 応募者が作成又は準備（入手）するもの：①～⑬

①応募者の顔写真	
提出時のファイル名	KA*****_氏名.jpg/jpeg （※jpeg等で提出すること）
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること （※指定リンク以外にアップロードした場合、応募は受け付けません。）
台紙	不要
注意事項	※1：縦横の比率（40mm×30mm、600×450ピクセル程度） ※2：ファイルサイズは3MBまで ※3：明るさが適切で顔全体が鮮明に映っていること



②様式1：願書	
③様式2-1・様式2-2：留学先大学情報【第1希望・第2希望】 （様式2-3・様式2-4：留学先大学情報【第3希望・第4希望】）	
提出時のファイル名	KA*****_O1.xlsx
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること （※指定リンク以外にアップロードした場合、応募は受け付けません。）
台紙	不要
注意事項	- 入力シートに応募者の情報や留学先大学の情報等を入力してください。（黄色のセルは必須項目、オレンジ色は任意項目です。） - 作成前に、募集要項Ⅳ 資格要件や募集要項補足Q&A、入力シートの入力例と注意事項をしっかりと読んでください。また、写真貼付欄には①と同じ写真を貼付してください。 - 様式1（願書）及び様式2-1～様式2-4は、入力シートへの入力内容が自動で反映される確認シートです。全ての入力が終わったら、必ず確認シートで入力漏れや誤入力がないか、他の提出書類と内容が一致しているか確認してください。

※黄色のセルは必須項目、オレンジ色は任意項目

No.	様式の表示順	項目	入力例	注意事項
必須	1	顔写真	写真貼付欄 必須入力	顔写真データ（顔写真）を貼付してください。
必須	2	氏名	姓	姓を入力してください。
必須	3	名	名	名を入力してください。
必須	4	（三つ名）	三つ名	三つ名を入力してください。
必須	21	応募学部	学部	学部を入力してください。
必須	22	学校コード	学校コード	学校コードを入力してください。
必須	23	取りまとめ人学名	取りまとめ人学名	取りまとめ人学名を入力してください。
必須	24	コード	コード	コードを入力してください。
必須	25	専門分野	専門分野	専門分野を入力してください。
必須	26	専門分野	専門分野	専門分野を入力してください。
必須	27	専門分野	専門分野	専門分野を入力してください。

入力シート（例）

※入力シートを全て入力した後は、必ず確認シートで審査用の願書を確認してください。

選考管理番号	KA00009999			氏名	機構	ミドル 花子	自然科学分野
2027年度海外留学支援制度(大学院学位取得型)							様式1 願書
フリガナ	キコウ			ミドル ハナコ			顔写真
氏名	機構			ミドル 花子			
ローマ字	KIKOU			Midoru Hanako			
国籍	日本国籍及びその他国籍			アメリカ合衆国			
生年月日	2001	年	5	月	20	日	2027年4月1日現在の年齢
							25 歳
現住所	〒123-4567 東京都江東区青海5-4-1 青海プラザ×××						
電話番号	03-1234-5678			メールアドレス	kikouhanako@jasso.com		
応募形態	大学取りまとめ応募		学校コード・ 取りまとめ大学	123456	●●大学		
審査分野	自然科学分野		専門分野	電気電子工学およびその関連分野			
審査分野の選択理由 (専門分野コード表と異なる場合)							

確認シート(例)

選考管理番号	KA00009999			氏名	機構	ミドル 花子	自然科学分野
様式2-1 留学先大学情報							
【第1希望】留学先大学における留学計画							
— —							
留学先大学名	University Japan Student Services Organization						
研究科名称	Department of Engineering						
大学間共同学位プログラム	該当しない			プログラム共同実施大学名 (日本の大学)			
所在地	737	英国					
取得予定学位名	博士	PhD in Engineering					
研究テーマ	●●××						
応募時の状況	入学前(教員とコンタクト前)						
学位取得にかかる最短期間	3	年	0	か月	(	36か月	)
留学期間	2027	年	9	月	~	2030	年 8 月 (36か月)
支援開始年月	2027	年	9	月			
支援開始学年	1学年から			支援期間(目安)		36か月	

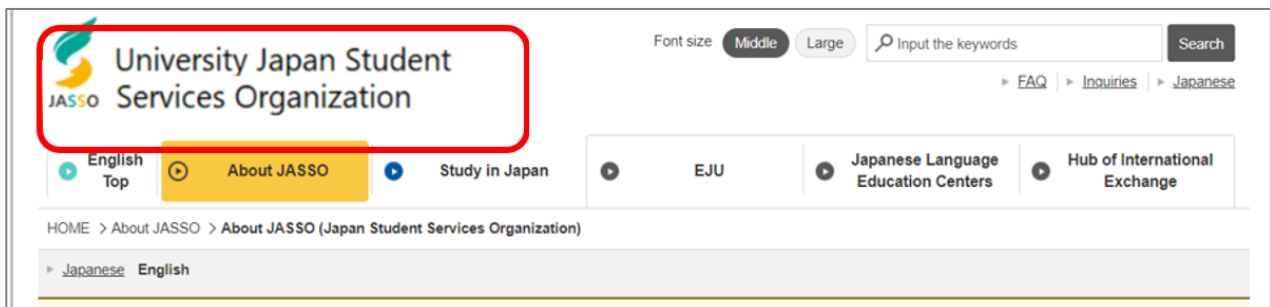
④様式2別添：留学先大学情報【第1希望・第2希望】の根拠書類	
提出時のファイル名	【第1希望】 KA*****_02-1.pdf 【第2希望】 KA*****_02-2.pdf ※それぞれ別添①～⑧をA4サイズの1つのPDFファイルに結合
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること (※指定リンク以外にアップロードした場合、応募は受け付けません。)
台紙	必要
注意事項	・様式2-1【第1希望】・様式2-2【第2希望】の留学計画について提出してください。(様式2-3【第3希望】・様式2-4【第4希望】の根拠書類は提出不要です。) ・青枠内に必要事項を記入の上、<u>様式2-1・様式2-2に記入した内容が確認できる文書を「根拠書類スクリーンショット」欄に貼り付け、該当箇所を赤枠で囲んでください。</u> ※1：留学先大学が作成した媒体を貼付すること (大学の公式ウェブサイトの場合は、<u>出典URLを必ず記載すること</u>。 ウィキペディアや留学エージェント等、他のウェブサイトからの引用は不可(別添⑧は除く。)) ※2：可能な限り英語で記載された資料を貼付すること (英語の表記がない場合はその旨を台紙の余白に記入の上、英語以外で記載された資料を貼付すること) ※3：留学先大学の作成した文書から取得したことがわかるように、<u>該当箇所だけでなく、周辺の部分も貼り付けて出典元を明示すること</u> ※4：大学にメールで問い合わせた文書を根拠書類とする場合は、<u>問い合わせ内容及び回答内容がわかるようにセットで貼付すること</u> ※5：貼り付けた<u>画像が鮮明で、文字(10ポイント以上)がはっきりと読めることを確認すること</u> (画像が不鮮明の場合や文字が小さい・不明瞭の場合は、書類不備として審査対象外)

様式2 別添① 大学院 英文大学名

様式2別添①（例）

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
出典 (該当するものを○で囲んでください)	大学の公式ウェブサイト / 入学許可書 / 大学にメールで問い合わせた文書 / その他 (具体的に記載してください)
出典 URL (大学の公式ウェブサイトの場合のみ)	https://ryugaku.jasso.go.jp/ (英語)

根拠書類スクリーンショット (画像)



現地語表記の大学名 (英語以外の場合) 表記箇所スクリーンショット (画像)

【注意事項】

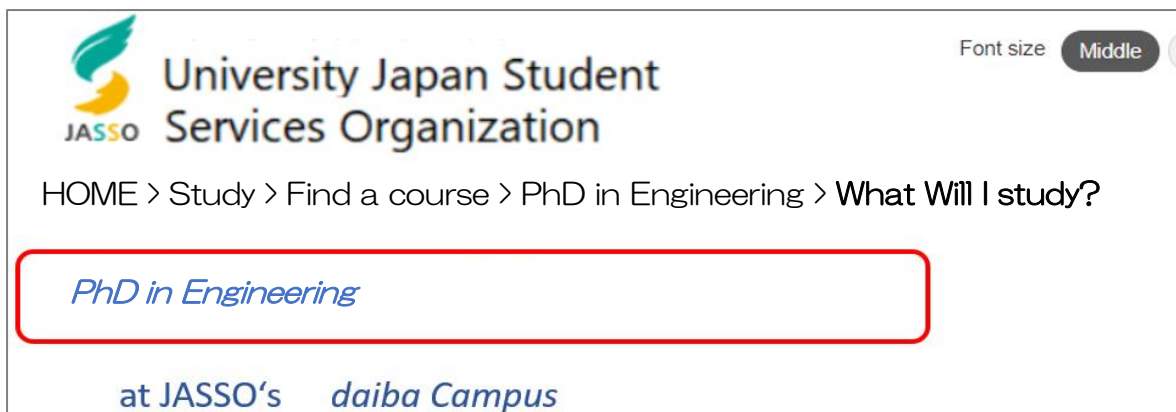
- ・根拠書類スクリーンショット(画像)と青枠内に記入する留学先大学名(英文)を同じ表記にすること
- ・アルファベット略称ではなく正式名称を記入すること
(例 OUniversity Japan Student Services Organization / ×UJASSO)
- ・分校に在籍する場合は、その名称も含めること
(例 University Japan Student Services Organization, Malaysia)
- ・複数大学間のダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム等の場合は、在籍する全ての大学名を1. OO, 2. OO・・・と記入し、全ての根拠書類を貼付すること
- ・1ページで作成すること

様式2 別添②—1 大学院 取得予定学位名

様式2別添②—1 (例)

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
出典 (該当するものを○で囲んでください)	大学の公式ウェブサイト / 入学許可書 / 大学にメールで問い合わせた文書 / その他 (具体的に記載してください)
出典 URL (大学の公式ウェブサイトの場合のみ)	https://ryugaku.jasso.go.jp/degree
取得予定学位名の和訳	工学博士

根拠書類スクリーンショット (画像)



【注意事項】

- 学位名は“Master of Arts”や“Doctor of Philosophy”のように、「修士」や「博士」に相当する学位を貼付すること
- “PhD in ○○○”等、“in”の後に続く名称がある場合、その部分も含めること
(例 PhD in Economics)
- 英国の教育制度による大学においては、途中でMPhilが授与されるPhDプログラムでも、当該プログラムにて博士号の取得を予定している場合は「博士」の区分とすること
- 複数大学間のダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム等の場合は、取得する学位名を
1. ○○, 2. ○○と記入し、全ての根拠書類を貼付すること
- 1ページで作成すること

様式2 別添②-2 取得予定学位に関する備考

様式2別添②-2 (例)

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
出典 (該当するものを○で囲んでください)	大学の公式ウェブサイト / 入学許可書 / 大学にメールで問い合わせた文書 その他 (具体的に記載してください)
出典 URL (大学の公式ウェブサイトの場合のみ)	
学位に関する備考 記載事項の和訳	MDは専門職学位であり、博士号と同等の学位とのこと 4年間のフルタイムの学習を要するとのこと

根拠書類スクリーンショット (画像)

H Hanako KIKOU
To John Smith > <Inquiry About the Degree Level of the MD Program>
Dear Director of Admissions,

I am considering applying to the MD program at University JASSO.
I understand that the MD is a professional degree.
However, in order to apply for a Japanese government scholarship, I need to know if it is equivalent to a master's or doctoral degree.
Could you please clarify this for me at your earliest convenience?

Best regards,
Hanako KIKOU
hanako.kikou@xxx.com

J John Smith
To 自分 > RE:<Inquiry About the Degree Level of the MD Program>
Dear Hanako,

The MD is a professional doctorate, which means it is equivalent to a doctoral degree.
The program typically spans a comprehensive four years of full-time study.

Best regards,
John
xxxxx@ujasso.abc.com
Director, Admissions
University Japan Student Services Organization
 University Japan Student Services Organization

【注意事項】

- ・学位名に“Master”や“Doctor”に相当する単語が含まれていない場合、その学位が「修士」の学位や「博士」の学位に相当することが記載されている資料を貼付すること
- ・専門職学位(Juris Doctor(JD)、Doctor of Medicine(MD)、Doctor of Dental Surgery(DDS)等)については、その国の教育制度でどのような位置付けなのかを調べて根拠書類を貼付すること
※カナダのJuris Doctor(JD)は学士号相当のため支援対象外
- ・上記の必要がない者は、特筆すべき事項がない旨を記入すること
- ・1ページで作成すること

様式2 別添③ 大学院 応募時の状況

様式2別添③（例）

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
提出物 (該当するもの全てを選択(該当項目の □欄をクリック)してください)	☐ 1.在籍確認書 ☒ 2.無条件入学許可書 ☐ 3.条件付き入学許可書 ☐ 4.受入内諾書 ☐ 5.教員と受入についてやりとりしている文書、及びその要約 (メールを提出する場合は照会した内容と教員からの返信を併せて貼付すること) ☐ 6.提出できるもの無し
入学年月が記載されて いる部分の和訳	2027年9月1日
修了年月が記載されて いる部分の和訳	2030年8月31日
備考 (「5.」を選択した場合はその要約を 記入すること)	

根拠書類スクリーンショット (画像)

・次ページに添付する。

【注意事項】

- ・提出できるものがない場合はその旨を記載し、本紙のみ提出すること
- ・在籍証明書、入学許可書、受入内諾書を提出する場合は、入学年月(受入予定年月)及び修了年月が記載された部分を赤枠で囲み、和訳を記載すること
- ・2ページ以内で作成すること

※1:入学許可書や受入内諾書に準じるものがある場合は提出すること

(ただし、支援期間開始までには「条件付」ではない入学許可書の提出が必要)

※2:在籍中の留学先大学において支援を希望する場合は、入学許可書の代わりに在籍証明書を貼付すること

※3:入学許可書等を得られていない場合は、留学先大学や指導を依頼する予定の教員とのコンタクト状況がわかるもの(メール可)があれば貼付し、その内容を備考欄に要約すること(まだ正式な受入内諾書を受け取っていない場合でも、指導を依頼する予定の教員が受入の内諾を示している場合は、それがわかるメール等を根拠書類として貼付し、その内容を備考欄に要約すること)

根拠書類（2ページ目）



LETTER OF UNCONDITIONAL ADMISSION

To : HANAKO KIKOU

Date : August 22, 2026

Dear Hanako Kikou,

We are pleased to offer you unconditional admission to University Japan Student Services Organization for the Engineering PhD program. This offer is unconditional and is not subject to any additional requirements.

Program Details

- Program start : September 1, 2027
- Program end : August 31, 2030

Congratulations on your acceptance.

If you have any questions, please email or call the graduate office at XX@XXXX or (XXX)XXX-XXXX.

Sincerely,


Principal's signature

John Smith
Director of Admissions
University Japan Student Services Organization

様式2 別添④ 大学院 学位取得期間

様式2別添④（例）

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
出典 (該当するものを○で囲んでください)	大学の公式ウェブサイト / 入学許可書 / 大学にメールで問い合わせた文書 / その他 (具体的に記載してください)
出典 URL (大学の公式ウェブサイトの場合のみ)	https://ryugaku.jasso.go.jp/courselength
学位取得期間の和訳	専攻:工学 フルタイム 3年

根拠書類スクリーンショット (画像)

Font size Middle Large

HOME > Study > Find a course > PhD in Engineering > What Will I study?

Anthropology PhD

Key information

Programme starts

Modes and duration

- Full time: 3 years
- Part time: 5 years

【注意事項】

- ・専攻名と学位取得期間がわかるように抜粋すること
- ・具体的な期間が記載されておらず、学位取得に必要な単位数のみ公開されている場合は、1年間に取得する単位数から学位取得期間を計算する等、その根拠を和訳欄に記載すること
(例「学位取得に必要な単位数が60単位」であり、「1学年で30単位を取得する」と記載がある場合、 $60(\text{単位}) \div 30(\text{単位/年}) = 2(\text{年})$ となるため、学位取得には2年かかると説明する)
(例「学位取得に必要な期間が4学期」と記載があり、「1学年が2学期制」の場合、併せて学事暦を貼付の上、 $4(\text{学期}) \div 2(\text{学期/年}) = 2(\text{年})$ となるため、学位取得には2年かかると説明する)
- ・1ページで作成すること

様式2 別添⑤ 大学院 語学要件

様式2別添⑤（例）

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
出典 (該当するものを○で囲んでください)	大学の公式ウェブサイト / 入学許可書 / 大学にメールで問い合わせた文書 / その他 (具体的に記載してください)
出典 URL (大学の公式ウェブサイトの場合のみ)	https://ryugaku.jasso.go.jp/requirement
語学要件の和訳	上級レベル: 総合スコア 109点(バンドスコア 5.5)以上、 各項目 27点(バンドスコア 5.5)以上

根拠書類スクリーンショット (画像)


 University Japan Student
Services Organization

English language requirements

If your education has not been conducted in the English language, you will be expected to demonstrate evidence of an adequate level of English proficiency.

The English language level for this programme is **Advanced**

Test of English as Foreign Language (TOEFL) iBT

For entry into programmes from January 2026 onwards

Standard level :
Overall score of 92 (0–120) / 4.5 (1–6 Band) with 20/30 (0–120) / 4.0 (1–6 Band) in Reading and Writing and 25/30 (0–120) / 5.0 (1–6 Band) in Speaking and Listening.

Good level :
Overall score of 100 (0–120) / 5.0 (1–6 Band) with 24/30 (0–120) / 5.0 (1–6 Band) in Reading and Writing and 25/30 (0–120) / 5.0 (1–6 Band) in Speaking and Listening.

Advanced level :
Overall score of 109 (0–120) / 5.5 (1–6 Band) with 27/30 (0–120) / 5.5 (1–6 Band) in Reading and Writing and 27/30 (0–120) / 5.5 (1–6 Band) in Speaking and Listening.

【注意事項】

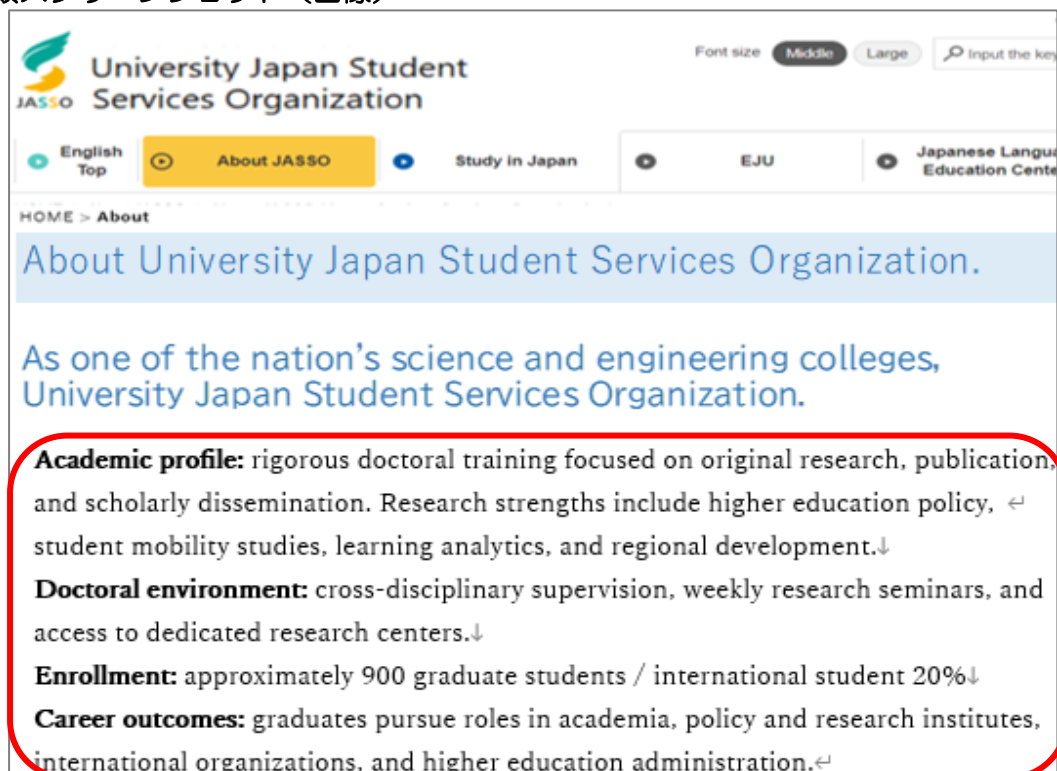
- ・留学先大学が語学要件を定めていない場合は、その旨が確認できる書類を貼付すること
- ・留学先大学が語学能力試験の結果以外で語学要件を定めている場合は、その旨を示す書類を貼付すること（例 当該国・地域において1年間英語で授業を履修していること）
- ・1ページで作成すること

様式2 別添⑥ 大学院 留学先大学の概要

様式2別添⑥（例）

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
出典 (該当するものを○で囲んでください)	大学の公式ウェブサイト / 入学許可書 / 大学にメールで問い合わせた文書 / その他 (具体的に記載してください)
出典 URL (大学の公式ウェブサイトの場合のみ)	https://ryugaku.jasso.go.jp/requirement
留学先大学の概要の和訳	教育・研究の特徴: 独創的な研究の遂行、論文発表、学術的発信を中核とする研究課程を有する。主な研究分野は高等教育政策、学生流動性研究、ラーニング・アナリティクス、地域開発等 研究環境: 学際的な指導体制、リサーチ・セミナーの開催、専門的な研究センターの利用 学生数: 大学院約 900 人 (留学生比率 20%) 修了後の進路: 大学教員、政策・研究機関、国際機関等

根拠書類スクリーンショット (画像)



【注意事項】

- ・留学先大学の特色がわかる部分を貼付すること
- ・本ページも含め、2ページ以内で作成すること

様式2 別添⑦ 大学院 プログラム概要

様式2別添⑦（例）

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
出典 (該当するものを○で囲んでください)	大学の公式ウェブサイト / 入学許可書 / 大学にメールで問い合わせた文書 / その他 (具体的に記載してください)
出典 URL (大学の公式ウェブサイトの場合のみ)	https://ryugaku.jasso.go.jp/department
プログラム概要の和訳	1 年目には、研究計画書の作成と、各種助成金への応募に取り組みます。 プロジェクトはおおよそ2年間にわたる長期間の作業です。 プロジェクトを一通り終えたら、博士論文の執筆にとりかかります。

根拠書類スクリーンショット (画像)

Engineering



Engineering is the application of scientific principles to design, develop, and analyze structures, machines, and systems, focusing on innovation and practical solutions in a diverse range of fields.

In the three-year course, you will undertake comprehensive projects and develop a Doctoral thesis.

In the first year, we will focus on developing a project proposal and applying for various grants. When formulating a project plan, it is crucial to position your theme within the history of engineering innovations and clarify its significance and originality. This is the most important point when securing funding, so it can be said that both are the two wheels in the project preparation stage.

Project work is a long-term commitment that lasts approximately two years. Engage with real-world challenges, understand industry standards, collaborate with professionals, solve problems daily, and test and refine your designs. By repeating this process, I will gather various data and tackle my own challenges. Project work is by no means easy, but at the same time, it is one of the greatest rewards of engineering, and it can be said that it is its greatest feature. After completing the project work, you will start writing your Doctoral thesis.

【注意事項】

- ・留学先大学で在籍するプログラムの概要がわかる部分を貼付すること
- ・通信・遠隔教育(完全オンライン授業や指導教員による研究指導・論文指導等)により提供される課程の場合、日本以外の諸外国等に滞在することを留学先大学が必須で定めていることが確認できる部分を貼付すること
- ・本ページも含めて、2ページ以内で作成すること

様式2 別添⑧ 大学院 特別枠対象大学

様式2別添⑧（例）

特別枠への申請 (該当するものを○で囲んでください)	あり / なし
	「あり」の場合(該当するほうに○) 特別枠対象大学リストの大学 / 特別枠対象大学リストにない大学

※特別枠に申請する場合で、特別枠対象大学リストにない大学を希望する場合のみ

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ
留学先大学名(英文)	University Japan Student Services Organization
希望順 (該当するものを○で囲んでください)	第1希望 第2希望
使用した世界大学 ランキングの名称 (年を含めて記入すること)	World University Rankings by Subject 2026 : Engineering & Technology
出典 URL	https://ryugaku.jasso.go.jp/worldrankings

根拠書類スクリーンショット (画像)

Home > World University Rankings by Subject 2026 > Engineering & Technology

World University Rankings by Subject 2026: Engineering & Technology

Rank	University	Overall Score
1	Aomi Institute of Tecnology	97.5
2	Kikou University	94.6
3	University of Ryugakushien	92.2
4	University Japan Student Servies Organization	92.1

【注意事項】

- ・教育面を含めた総合的な指標を用いた直近3年以内の世界大学ランキング(総合ランキング又は分野別ランキング)で上位30位以内の大学であることを示すこと
- ・出典元(ランキングの名称及び該当年)がわかる部分を貼付すること
- ・本ページも含めて、2ページ以内で作成すること

⑤様式3：業績等について	
⑥様式4：研究計画及び修了後の進路計画書	
⑦様式5：日本社会への貢献について	
提出時のファイル名	KA*****_03.pdf
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること (※指定リンク以外にアップロードした場合、応募は受け付けません。)
台紙	不要
注意事項	- それぞれA4判1枚で作成し、様式3を1ページ目、様式4を2ページ目、様式5を3ページ目にして、1つのPDFにまとめてください。 - 各様式の枠サイズは変更できません。

3. 業績等について【日本語で記入してください。】

様式3
記載要領

●●××・・・

次の点を踏まえて、自由に記述してください。

- ① 研究の経歴・発表論文・表彰等の実績・著書等、アピールしたいことの詳細
- ② ①の関係年月日

※1：専門領域における学識及び研究能力について、業績等の客観的資料に基づいて記述すること

※2：応募時に上記①の論文や実績等がない場合は、業績に限らず、専門領域における学識及び研究能力について、留学期間中の研究計画や進路計画の内容を踏まえて、アピールしたい研究能力について、留学期間中の研究計画や進路計画の内容を踏まえて、アピールしたいことを記述すること

学長（総長）賞や学会における表彰を受けている等、顕著かつ明確な実績がある場合は、面接審査で確認することがあります。

4. 研究計画及び修了後の進路計画書【日本語で記入してください。】

様式4
記載要領

●●××・・・

次の点を踏まえて、自由に記述してください。

- ・本制度による留学志望理由を踏まえた研究計画・留学期間中の研究計画・修了後の進路計画（職業、地位等を含む）について

※1：「要約」と「詳細」に分けて記述すること

※2：第1希望及び第2希望を踏まえた内容にすること

5. 日本社会への貢献について【日本語で記入してください。】

様式5
記載要領

●●××・・・

次の点を踏まえて、自由に記述してください。

- ① 国費で留学をする意味（職業、地位等を含む）について
- ② 国費の支援を受けた応募者自身の留学を、どのように日本社会に還元し、国や社会に貢献していくことができるか
- ③ 留学先での具体的な日本のPR、留学終了後の留学報告会や留学経験を踏まえた社会貢献活動等の計画

※ ①～③の内容を「要約」と「詳細」に分けて記述すること

⑧様式3別添：代表的論文の抜粋	
提出時のファイル名	KA*****_04.pdf
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること (※指定リンク外にアップロードした場合、応募は受け付けません。)
台紙	必要
注意事項	- 論文の抜粋は、A4判2枚以内におさめてください。 ※1：必要に応じて要約すること。論文全体の提出は不要 ※2：論文の抜粋の代わりに、要旨でも可。ただし、論文の執筆言語と同じ言語で提出すること ※3：<u>論文が共著や共同研究の場合は</u>、共著又は共同研究であることを抜粋等（様式3別添）内で説明すること。なお、応募者自身がどの部分をどのように貢献したかを明記すること <u>論文の執筆言語が日本語以外の場合は</u>、和訳を別途A4判2枚以内で作成の上、併せて提出してください。 【該当者のみ】 - 学位論文や研究論文がある場合は、その抜粋又は要旨を提出するのが望ましいですが、大学学部卒業（見込み）者で、学位論文（卒業論文）がない場合は、応募者自身の判断により妥当と思われる他の論文やレポートを提出してください。 【該当者のみ】 <u>支援を希望する学位と同じレベルの学位を取得済みで、分野が極めて近い場合は</u>、取得済学位と同分野かつ同レベルではないことを説明する文書をA4判1枚以内（様式任意）で作成の上、併せて提出してください。

●代表的論文の抜粋（様式3別添）等提出用台紙

台紙（例）

選考管理番号	KA00009999
審査分野	自然科学分野
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ

該当箇所を選択（該当項目の口欄をクリック）し、必要事項を記入してください。

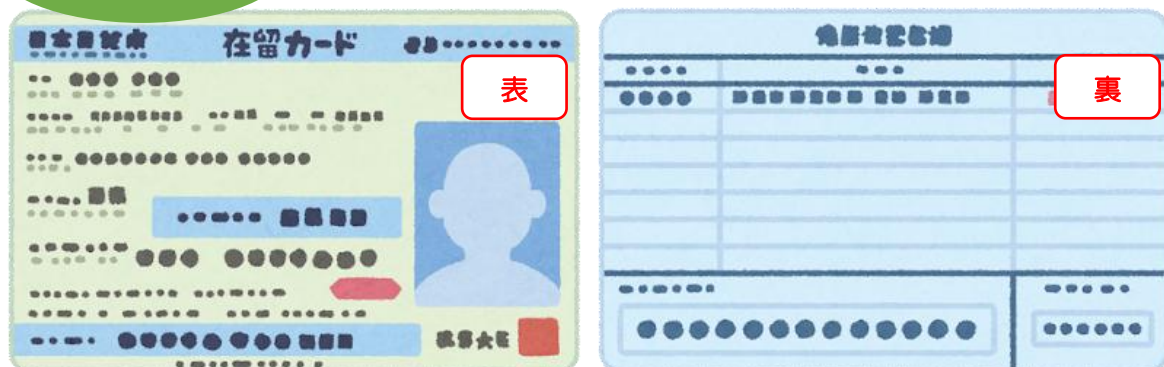
代表的論文	論文の題目	Analysis and Evaluation of the ●● method
	論文の種別	☐ 学位論文(学士) _____大学_____学部 ☐ 学士課程で卒業論文を書いていない場合、その他の論文やレポート ☒ 学位論文(修士) <u>テレコム</u> 大学 <u>工学</u> 研究科 ☐ 学位論文(博士) _____大学_____研究科 ☐ その他の研究論文(具体的に記入) (_____)
	論文の執筆言語	☐ 日本語 ☒ 日本語以外(<u>英</u> 語)
(該当者のみ) 共著又は共同研究		☐ 代表的論文が、共著や共同研究であるため、自身の貢献内容を抜粋等(様式3別添)内で説明する
(該当者のみ) 取得済学位と同分野かつ同レベルではないことを説明する文書		☐ 留学先大学における取得予定学位が、取得済学位と同レベルであるため、同分野ではないことを説明する文書(別途A4 判1枚以内で作成したもの)も併せて提出する ※分野が極めて近い場合のみ

⑨パスポート（又は在留カード（両面））	
提出時のファイル名	KA*****_05.pdf
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること （※指定リンク外にアップロードした場合、応募は受け付けません。）
台紙	必要
注意事項	・日本国籍を有する場合はパスポート、在留資格が「永住者」又は「特別永住者」である場合は在留カード（両面）を提出してください。 【該当者のみ】 ・他の応募書類と氏名が異なる場合は、同一人物であることを証明する根拠書類や説明文書を添付してください。 ※マイナンバー（個人番号）が記載されている場合は、見えないように提出すること

パスポート（例）

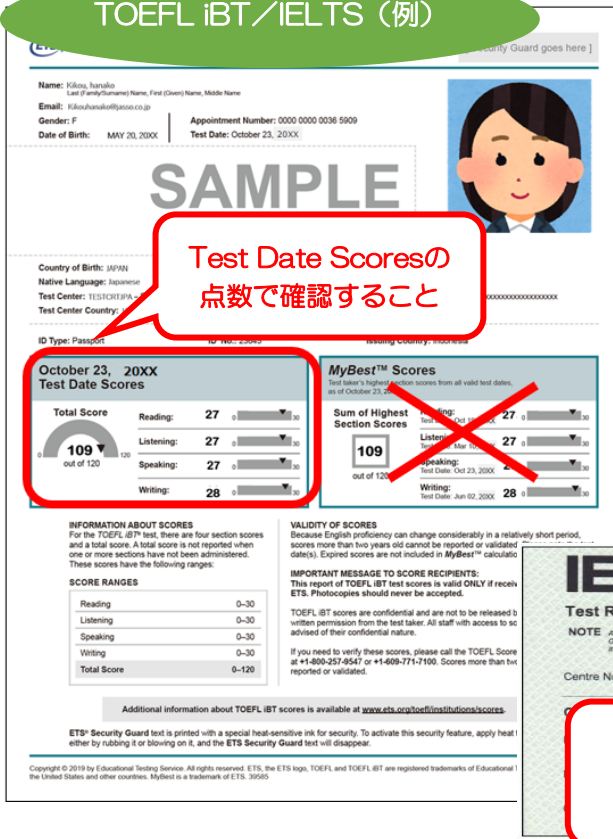


在留カード（例）



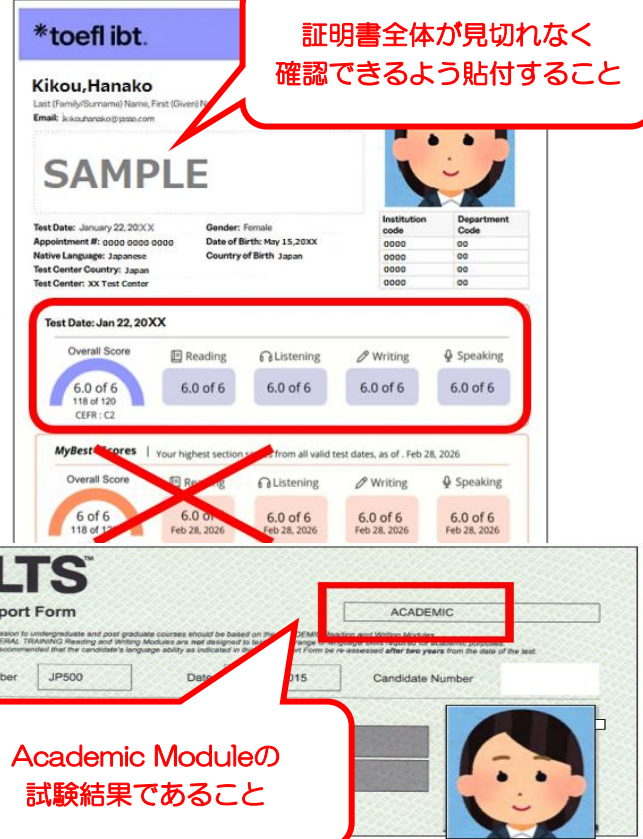
⑩語学能力試験証明書	
提出時のファイル名	KA*****_06.pdf
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること (※指定リンク外にアップロードした場合、応募は受け付けません。)
台紙	必要
注意事項	【留学先大学での主たる使用言語が英語である場合】 TOEFL iBT5.0 (Overall Score) 以上 (2026年1月21日以降に受験した場合)、95 (Total Score) 以上 (2026年1月20日以前に受験した場合)、又はIELTS 6.5(Academic Module Overall Band Score) 以上の証明書を提出してください。 ※1 : TOEFL iBTの場合はTest Date Scoresの点数で確認すること ※2 : IELTSの場合はAcademic Moduleの試験結果であること 【留学先大学での主たる使用言語が英語以外である場合】 語学能力試験の結果(総得点)が、ヨーロッパ言語共通参照(CEFR) C1レベル以上の証明書を提出してください。 ※3 : 別紙3「各語学能力試験のCEFRとの対応表」に記載されていない試験の証明書を提出する場合は、CEFRとの対照表を併せて提出すること。 ただし、CEFRとの対照表が存在しない場合は、証明書の評価基準及び様式イ(語学運用能力証明書)を併せて提出すること ※4 : CEFRと対照できる語学能力試験が存在しない場合は、様式イ(語学運用能力証明書)を提出すること

TOEFL iBT/IELTS (例)



Test Date Scoresの点数で確認すること

October 23, 20XX
Test Date Scores
Total Score: 109 out of 120
Reading: 27, Listening: 27, Speaking: 27, Writing: 28



証明書全体が見切れなく確認できるよう貼付すること

Academic Moduleの試験結果であること

Overall Score: 6.0 of 6
Reading: 6.0 of 6, Listening: 6.0 of 6, Writing: 6.0 of 6, Speaking: 6.0 of 6
CEFR: C2

英語以外（フランス語）（例）

(CEFR) C1レベル
以上であること

2027年度 海外留学支援制度(学部学位取得型・大学院学位取得型)

様式イ（応募者用）（例）

語学運用能力証明書

【応募者記入欄】

1. 応募者氏名 機構 ミドル 花子
2. 選考管理番号 KA00009999
3. 言語 ●● 語 学習期間 6 年
4. 語学運用能力証明書（様式イ）提出理由

◎該当するものを1つ選択してください。

- ☒ 1. 留学先大学（機関）で使用する言語についての語学能力試験が存在しない
- ☐ 2. 受験した語学能力試験とCEFRとの対照表が存在しない（実施機関に確認済み）

※2.に該当する場合、受験した語学能力試験結果とその評価基準を併せて提出してください。

CEFRと対照できない場合は、
「語学運用能力証明書」（様式イ）を提出

様式イ（評価者用）（例）

【評価者記入欄】

独立行政法人 日本学生支援機構 理事長 殿

応募者の語学運用能力について、以下のとおり証明します。

1. 留学先で必要な言語の運用能力

◎該当するものを1つ選択してください。

チェック欄	CEFR レベル	応募者の語学能力
☐	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
☒	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
☐	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができる。流暢かつ自然である。幅広い話題について明確で詳細な文章を作ることができる。
☐	B1	仕事、学校、娯楽など、普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
☐	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買物、近所の地理、仕事など、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身辺的な情報交換に応じることができる。
☐	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な文法を習得し、理解し、活用することができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知合いであるか、持ち物などの個人情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手にゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(CEFR) B2レベル以下は
応募不可

出典：ブリティッシュ・カウンシル

◎コメントすることがあればご記入ください。

応募者については大学2年次からの3年間指導していたが、●●語での会話に不自由がなく、専攻分野の参考文献も読むことができるため、CEFRのC1レベルに当たる●●語の能力があることを証明します。

2. 評価者ご自身の言語能力 ※評価の妥当性を判断するための参考情報です。

- ① 語学運用能力のレベル ☐ 1. 母語レベル ☒ 2. ビジネスレベル（専門的な業務遂行が可能） ☐ 3. 日常会話レベル
- ② 主な使用場面（複数選択可） ☒ 1. 業務 ☐ 2. 日常生活 ☒ 3. 教育 ☐ 4. その他（ ）
- ③ 使用年数 ☒ 1. 20年以上 ☐ 2. 10年以上20年未満 ☐ 3. 5年以上10年未満
- ④ 応募者との関係 ☐ 1. 職場の上司 ☒ 2. 教員等 ☐ 3. その他（ ）

評価者氏名： 駒場 一郎

連絡先住所： 東京都目黒区駒場1-2-3-4

連絡先電話番号： 03-5520-6014

所属先： JASSO大学

役職： 教育学部 教授

自署： 駒場 一郎

記入日： 2026年9月18日

自署（手書き）であること

⑪大学学部以降の卒業（修了）証明書（又は見込み証明書）	
提出時のファイル名	KA*****_07.pdf
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること （※指定リンク以外にアップロードした場合、応募は受け付けません。）
台紙	必要
注意事項	学校ごとに卒業証明書（又は卒業見込み証明書）、修了証明書（又は修了見込み証明書）をセットにして、在籍（入学時期）の古い方から順番に並べ、1つのPDFにまとめてください。 ※1：応募時に大学院に在籍中の者で、在籍校が修了見込み証明書を発行できる要件をまだ満たしていない場合は、直近の在籍証明書を提出すること。在籍校が在籍証明書を発行できる要件も満たしていない場合は、入学許可書を提出すること ※2：大学が発行した公式文書を提出すること ※3：A4サイズで印刷した際に文字や数字がはっきりと読めることを確認すること（不明瞭なものは書類不備として審査対象外）

●大学学部以降の卒業（修了）証明書等提出用台紙

選考管理番号	KA00009999
氏名	機構 ミドル 花子
カナ氏名	キコウ ミドル ハナコ

本紙と併せて提出するもの全てを選択（該当項目の□欄をクリック）し、必要事項を記入してください。

☒ 学士課程（1 校分・・・学校数を記載）

☒ 卒業証明書（又は卒業見込み証明書）を提出する

台紙（例）

卒業見込み証明書（例）

卒業見込証明書

大学が発行した公式文書

氏 名： 機構 ミドル 花子

生年月日： 20XX年 5月20日

学籍番号： 123465789

下記の通り相違ないことを証明する。

記

〇〇科

2023 年 4 月 入学

2027 年 3 月 卒業見込

2026 年 9 月 16 日

発行元がわかるように

東京都〇〇区〇〇一丁目二番地三
留学支援大学 学長 見本

⑫大学学部以降の公式の学業成績証明書（【該当者のみ】様式リー1又は様式リー2）	
提出時のファイル名	KA*****_08.pdf
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること （※指定リンク外にアップロードした場合、応募は受け付けません。）
台紙	必要
注意事項	- 大学（学部）以降に在籍した全ての成績証明書を在籍（入学時期）の古い方から順番に並べ、1つのPDFにまとめてください。 1つの成績証明書に、複数の課程や学部の成績が記載されている場合は、該当箇所を赤枠で囲んでください。 - 直近の在籍課程の成績について、GPAに対応している場合は、累積GPA(Cumulative GPA)が記載されている箇所を赤枠で囲んでください。 【該当者のみ】 - 直近の在籍課程の成績について、以下のうちいずれか1つでも該当する場合は、それぞれ様式リを提出してください。 <u>「GPA計算書」（様式リー1）</u> ①GPAに対応しているが、GPの最大値が4.00でない場合 <u>「GPA計算書及びGPA算出方法説明書」（様式リー2①②）</u> ①GPAに対応していない場合 ②GPAが記載されていない場合 ③複数の成績を用いてGPAを算出する場合 ※1：<u>中退した場合や応募時に休学している場合も成績証明書を提出すること</u>（直近の在籍課程の成績であれば、GPA算出対象となる） ※2：<u>大学が発行した公式の学業成績証明書を提出すること</u>（非公式の書類は不可）。ただし、公式の学業成績証明書を提出できないやむを得ない事情がある場合に限り、非公式の書類でも受け付けるため、大学発行の根拠書類又は事情書（様式任意）と併せて提出すること ※3：A4サイズで印刷した際に文字や数字がはっきりと読めることを確認すること（不明瞭なものは書類不備として審査対象外） ※4：1校分の成績証明書が複数枚ある場合は、必ず全てのページを漏れなく提出すること ※5：様式リー1又は様式リー2①②を提出する場合は、本PDFファイルの最後になるようにすること

様式リー1 GPA計算書（例）

GPA計算書

1. 応募者氏名 機橋 ミドル 花子
2. 選考管理番号 KA00009999

本様式は、直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、GPの最大値が4.00でない場合に使用してください。

以下※1又は※2に該当する場合は本様式は使用できません。

- ※1 本制度に申請する場合はまず、「GPAが記載されている証明書の発行」を直近の在籍校に依頼してください。
直近の在籍校が、GPの最大値が4.00のGPAを記載した証明書を発行できる場合、本様式を使用することはできません。
- ※2 「GPA計算書及びGPA算出方法説明書」（様式リー-2）の使用条件に該当する場合、本様式を使用することはできません。
（様式リー-2の使用条件は、「様式リー-2※GPA対応なし」シートで確認してください。）

◆ 黄色のセルに「大学名」、「課程」、「現成績のGPA」及び「現成績のGPの最大値」を記入してください。

[成績] 大学名: 留学支援大学

課程: 学士課程

3.42	(応募者のGPA)	=	3.70	(現成績のGPA)	×	4.00	/	4.33	(現成績のGPの最大値)
------	-----------	---	------	-----------	---	------	---	------	--------------

*自動計算(小数点以下第3位を四捨五入)

この数値を願書に入力してください。

本様式は、直近の在籍課程の成績がGPAに対応している場合で、GPの
最大値が4.00でない応募者のみ使用します。

本様式は、次に該当する応募者が使用します。

- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない者
- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、当該校がGPAを記載した証明書を発行できない場合
- ・ダブルディグリー・プログラム等、複数の大学（交換留学を除く。）の成績を用いてGPAを算出する場合

1. 応募者氏名 △△ ◇◇

(様式リー2①より自動反映)

2. 選考管理番号 KA0000XXXX

GPA算出方法説明書

様式リー2② GPA算出方法説明書（例）

※1 提出する成績証明書や成績評価基準(Grading System)で確認できない評価方法等については、その併せて提出してください。

※2 参照URLの記載のみは認めません。該当書類を必ず提出の上、具体的に記入してください。

【該当する成績証明書の評価方法】

直近の在籍校であるテレポート大学の成績評価方法は、添付の成績評価基準表より以下のとおりです。

優：特に優れた成績を示した

良：優れた成績を示した

可：合格を認定するに足る成績を示した

不可：不合格

4段階評価の場合

(優、良、可、不)

【GPA算出方法とその根拠の説明】

4段階評価であるため、GPの最大値を3.00とし、以下のようにGPをカウントします。

「優」→GP3.00

「良」→GP2.00

「可」→GP1.00

「不可」→GP0.00

「認定（合格）」→GP計算に含まない

GPA算出用に提出した成績証明書の応募者の取得単位は以下のとおりです。

「優」→30単位

「良」→4単位

「可」→2単位

「不可」→2単位

「認定（合格）」→6単位（※算出単位に含まない）

総取得単位数：44単位

GPA算出に使用した合計単位数：38単位

URLのみの記載は不可

本様式は、次に該当する応募者が使用します。

- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない者
- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、当該校がGPAを記載した証明書を発行できない場合
- ・ダブルディグリー・プログラム等、複数の大学（交換留学を除く。）の成績を用いてGPAを算出する場合

1. 応募者氏名 ▲▲ □□

2. 選考管理番号 KA0000XXXX

様式リー2②
GPA算出方法説明書（例）

GPA算出方法説明書

※1 提出する成績証明書や成績評価基準(Grading System)で確認できない評価方法等については、その内容がわかる当該校発行書類を併せて提出してください。

※2 参照URLの記載のみは認めません。該当書類を必ず提出の上、具体的に記入してください。

【該当する成績証明書の評価方法】

直近の在籍校であるテレポート大学の成績評価方法は、添付の成績評価基準表より以下のとおりです。

Excellent（優秀）
very good（非常に良い）
good（良い）
satisfactory（可）
passable（合格）
fail（不合格）

6段階評価の場合

【GPA算出方法とその根拠の説明】

6段階評価であるため、GPの最大値を5.00とし、以下のようにGPをカウントします。

excellent → GP5.0
very good → GP4.0
good → GP3.0
satisfactory → GP2.0
passable → GP1.0
fail → GP0.0
pass → GP計算に含まない

URLのみの記載は不可

GPA算出用に提出した成績証明書の応募者の取得単位は以下のとおりです。

excellent → 20単位
very good → 15単位
good → 3単位
satisfactory → 2単位
passable → 0単位
fail → 0単位
Pass → 6単位（※算出単位に含まない）

総取得単位数：46単位

GPA算出に使用した合計単位数：40単位

本様式は、次に該当する応募者が使用します。

- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない者
- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、当該校がGPAを記載した証明書を発行できない場合
- ・ダブルディグリー・プログラム等、複数の大学（交換留学を除く。）の成績を用いてGPAを算出する場合

1. 応募者氏名 ◎◎
2. 選考管理番号 KA0000XXXX

本様式は、次のいずれかに該当する場合に使用してください。

- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない場合
- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、当該校がGPAを記載した証明書を発行できない場合
- ・ダブルディグリー・プログラム等、複数の大学（交換留学を除く。）の成績を用いてGPAを算出する場合

以下※1又は※2に該当する場合は本様式は使用できません（ダブルディグリー・プログラム等を除く。）。

※1 本制度に申請する場合はまず、「GPAが記載されている証明書の発行」を直近の在籍校に依頼してください。

直近の在籍校が、GPAが記載されている証明書を発行できる場合、本様式を使用することはできません。

※2 直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、GPの最大値が4.00でない場合は、「GPA計算書」()

様式リー2①
GPA計算書（例）

12段階評価の場合

GPA計算書

◆ GPAの算出対象となる成績について、該当する項目いずれか1つにチェックしてください。

- ☐ ア. 当該校発行の成績証明書（GPAが記載されている）を使用しGPAを算出する。
- ☐ イ. (アに該当しない場合) 当該校の成績評価基準(Grading System)に基づき、GPの最大値を設定し、GPAを算出する。
- ☒ ウ. (ア、イに該当しない場合) 当該校の成績評価基準(Grading System)に基づき、GPの最大値を設定し、GPAを算出する。
- ※例えば、8段階評価の場合はGPの最大値は7.00、最小値は0.00になります。
※不合格(Fail)を基準(GP0.00)として最大値を設定してください。

4段階評価 (例)	
Distinction	優
Merit	良
Pass	可
Fail	不合格

Grade Point (GP)	
3.00	優
2.00	良
1.00	可
0.00	不合格

5段階評価 (例)					
S	A	High Distinction	First Class (1st)	秀/優上	
A	B	Distinction	Upper Second Class (2:1)	優	
B	C	Credit	Lower Second Class (2:2)	良	
C	D	Pass	Third Class (3rd)	可	
F	F	Fail	Fail	不合格	

Grade Point (GP)	
4.00	秀/優上
3.00	優
2.00	良
1.00	可
0.00	不合格

GPA算出方法

「GPA」は、「GPの最大値」欄に入力された値に応じて、各GPの値に対応した単位数を乗じたものの合計を総登録単位数で除して、自動で算出されます。なお、GPの最大値が4.00以外の場合は、4.00満点に換算されます。

◆ [表1]の黄色のセルに「大学名」、「課程」、「GPの最大値」、「評価段階」、「GP」及び「単位数」を記入してください。

※ 以下の場合は、[表1]に加えて、[表2]も使用してください。

・評価段階が10段階より多い場合 ・GPの最大値が異なる複数の成績を用いる場合 ・在籍課程の前期後期でGPの最大値が異なる場合 等

[表1] 大学名: インターナショナル大学
課程: 修士課程 (相当)
GPの最大値: 11.00

[表2] 大学名: インターナショナル大学
課程: 修士課程 (相当)
GPの最大値: 11.00

評価段階	GP	単位数	GP×単位数
(最大) 20点	11.00	2	22
19点	10.00	4	40
18点	9.00	3	27
17点	8.00	2	16
16点	7.00	4	28
15点	6.00	2	12
14点	5.00	0	0
13点	4.00	0	0
12点	3.00	0	0
11点	2.00	0	0
総登録単位数:			17
GPA(GP最大4.00):			3.10

評価段階	GP	単位数	GP×単位数
(最大) 10点	1.00	0	0
9点	0.00	0	0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
総登録単位数:			0
GPA(GP最大4.00):			0.00

表1のGPA: 表1の総登録単位数:

3.10 × 17

表2のGPA:

表2の総登録単位数:

0.00 × 0

= 3.10 (応募者のGPA)

この数値を願書に入力してください。

*自動計算
(小数点以下第3位を四捨五入)

本様式は、次に該当する応募者が使用します。

- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない者
- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、当該校がGPAを記載した証明書を発行できない場合
- ・ダブルディグリー・プログラム等、複数の大学（交換留学を除く。）の成績を用いてGPAを算出する場合

1. 応募者氏名 ◎◎ ■■
2. 選考管理番号 KA0000XXXX

(様式リー-2①より自動反映)

GPA算出方法説明書

様式リー-2②
GPA算出方法説明書(例)

※1 提出する成績証明書や成績評価基準(Grading System)で確認できない評価方法等については、その内容を併せて提出してください。

※2 参照URLの記載のみは認めません。該当書類を必ず提出の上、具体的に記入してください。

【該当する成績証明書の評価方法】

添付の成績評価基準表より、直近の在籍校であるテレポート大学は、0-20点の間で評価され、合格は10点以上です。

9点以下が不合格となります。

12段階評価の場合

【GPA算出方法とその根拠の説明】

9点をGP0.00とすると、GPの最大値は11となり、以下のようにGPをカウントします。

20点 → GP11.0	14点 → GP5.0	pass → GP計算に含まない
19点 → GP10.0	13点 → GP4.0	
18点 → GP9.0	12点 → GP3.0	
17点 → GP8.0	11点 → GP2.0	
16点 → GP7.0	10点 → GP1.0	
15点 → GP6.0	9点以下 → GP0.0	

GPA算出用に提出した成績証明書の応募者の取得単位は以下のとおりです。

20点 → 2単位	14点 → 0単位
19点 → 4単位	13点 → 0単位
18点 → 3単位	12点 → 0単位
17点 → 2単位	11点 → 0単位
16点 → 4単位	10点 → 0単位
15点 → 2単位	9点以下 → 0単位
Pass → 6単位 (※算出単位に含まない)	

URLのみの記載は不可

総取得単位数：23単位

GPA算出に使用した合計単位数：17単位

本様式は、次に該当する応募者が使用します。

- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない者
- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、当該校がGPAを記載した証明書を発行できない場合
- ・ダブルディグリー・プログラム等、複数の大学（交換留学を除く。）の成績を用いてGPAを算出する場合

1. 応募者氏名 ○●□■

2. 選考管理番号 KA0000XXXX

本様式は、次のいずれかに該当する場合に使用してください。

- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない場合
- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、当該校がGPAを記載した証明書を発行できない場合
- ・ダブルディグリー・プログラム等、複数の大学(交換留学を除く。)の成績を用いてGPAを算出する場合

以下※1又は※2に該当する場合は本様式は使用できません(ダブルディグリー・プログラム等を除く)。

※1 本制度に申請する場合はまず、「GPAが記載されている証明書の発行」を直近の在籍校に依頼してください。直近の在籍校が、GPAが記載されている証明書を発行できる場合、本様式を使用することはできません。

※2 直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、GPの最大値が4.00でない場合は、「GPA計算書」(様

GPA計算書

◆ GPAの算出対象となる成

該当するものにチェック

- ☐ ア. 当該校が「成績評価基準(Grading System)」を使用してGPAを算出している。
- ☒ イ. (アに該当しない場合)当該校の成績評価基準(Grading System)が、下表の算出方法のいずれかに当てはまるため、これに従ってGPAを算出する。
- ☐ ウ. (ア、イに該当しない場合)当該校の成績評価基準(Grading System)に基づき、GPの最大値を設定し、GPAを算出する。
※例えば、8段階評価の場合はGPの最大値は7.00、最小値は0.00になります。
※不合格(Fail)を基準(GP0.00)として最大値を設定してください。

4段階評価 (例)			Grade Point (GP)
Distinction	優	⇒	3.00
Merit	良	⇒	2.00
Pass	可	⇒	1.00
Fail	不合格	⇒	0.00

5段階評価 (例)					Grade Point (GP)
S	A	High Distinction	First Class (1st)	秀/優上	4.00
A	B	Distinction	Upper Second Class (2:1)	優	3.00
B	C	Credit	Lower Second Class (2:2)	良	2.00
C	D	Pass	Third Class (3rd)	可	1.00
F	F	Fail	Fail	不合格	0.00

【GPA算出方法】

「GP」欄は、「GPの最大値」欄に入力された値に応じて、各GPの値に対応した単位数を乗じたものの合計を総登録単位数で除して、自動で算出されます。なお、GPの最大値が4.00以外の場合は、4.00満点に換算されます。

◆「表1」の黄色のセルに「大学名」、「課程」、「GPの最大値」、「評価段階」、「GP」及び「単位数」を記入してください。

※ 以下の場合は、「表1」に加えて、「表2」も使用してください。

・評価段階が10段階より多い場合 ・GPの最大値が異なる複数の成績を用いる場合 ・在籍課程の前期後期でGPの最大値が異なる場合 等

大学名:	TTT大学	
課程:	学士課程	
GPの最大値:	3.00	

大学名:	TTT 大学	
課程:	学士課程	
GPの最大値:	4.00	

	評価段階	GP	単位数	GP×単位数
(最大)	優	3.00	12	36
	良	2.00	5	10
	可	1.00	4	4
	不可	0.00	0	0
				0
				0
				0
				0
総登録単位数:				21
GPA(GP最大4.00):				3.17

[illegible]

表1のGPA： 表1の総登録単位数： 表2のGPA： 表2の総登録単位数：

$$\frac{3.17 \times 21 + 2.96 \times 26}{21 + 26} = 3.06 \quad (\text{応募者のGPA})$$

この数値を願書に入力してください。

*自動計算
(小数点以下第3位を四捨五入)

本様式は、次に該当する応募者が使用します。

- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない者
- ・直近の在籍課程の成績がGPAに対応しているが、当該校がGPAを記載した証明書を発行できない場合
- ・ダブルディグリー・プログラム等、複数の大学（交換留学を除く。）の成績を用いてGPAを算出する場合

1. 応募者氏名

○● □■

(様式)

2. 選考管理番号

KA0000XXXX

様式リー2②
GPA算出方法説明書（例）

GPA算出方法説明書

※1 提出する成績証明書や成績評価基準(Grading System)で確認できない評価方法等については、その内容がわかる併せて提出してください。

※2 参照URLの記載のみは認めません。該当書類を必ず提出の上、具体的に記入してください。

【該当する成績証明書の評価方法】

TTT大学では、前期（教養）課程と後期（専門）課程で、評価段階が異なる。

【前期（教養）課程】

優：特に優れた成績を示した
良：優れた成績を示した
可：合格を認定するに足る成績を示した
不可：不合格

【後期（専門）課程】

優上：特に優れた成績を示した
優：優れた成績を示した
良：標準以上の成績を示した
可：合格を認定するに足る成績を示した
不可：不合格

複数の成績を用いる
場合

【GPA算出方法とその根拠の説明】

【前期（教養）課程】

4段階評価であるため、GPの最大値を3.00とし、以下のようにGPをカウントします。

「優」→GP3.00
「良」→GP2.00
「可」→GP1.00
「不可」→GP0.00
「認定（合格）」→GP計算に含まない

URLのみの記載は不可

GPA算出用に提出した成績証明書の応募者の取得単位は以下のとおりです。

「優」→12単位
「良」→5単位
「可」→4単位
「不可」→0単位
「認定（合格）」→6単位（※算出単位に含まない）

総取得単位数：27単位

GPA算出に使用した合計単位数：21単位

【後期（専門）課程】

5段階評価であるため、GPの最大値を4.00とし、以下のようにGPをカウントします。

「優上」→GP4.00
「優」→GP3.00
「良」→GP2.00
「可」→GP1.00
「不可」→GP0.00
「認定（合格）」→GP計算に含まない

GPA算出用に提出した成績証明書の応募者の取得単位は以下のとおりです。

「優上」→9単位
「優」→10単位
「良」→5単位
「可」→1単位
「不可」→1単位
「認定（合格）」→4単位（※算出単位に含まない）

総取得単位数：30単位

GPA算出に使用した合計単位数：26単位

⑬大学学部以降の学業成績証明書に対応した成績評価基準（Grading System）	
提出時のファイル名	KA*****_09.pdf
提出方法	応募者が学位応募システムの指定リンクにアップロードすること （※指定リンク外にアップロードした場合、応募は受け付けません。）
台紙	必要
注意事項	• 大学（学部）以降に在籍した全ての学校の成績証明書に対応した<u>成績評価基準（Grading System）</u>を在籍（入学時期）の古い方から順番に並べ、1つのPDFにまとめてください。 • <u>成績評価基準（Grading System）に、他の課程や学部についても記載されている場合は、該当箇所を赤枠で囲んでください。</u> • 直近の在籍課程の成績証明書に対応した成績評価基準（Grading System）について、<u>GPAに対応している場合は、GPの最大値を赤枠で囲んでください。</u> ※1：A4サイズで印刷した際に文字や数字がはっきりと読めることを確認すること（不明瞭なものは書類不備として審査対象外） ※2：1校分の成績評価基準（Grading System）が複数枚ある場合は、必ず全てのページを漏れなく提出すること ※3：成績評価基準（Grading System）の記載部分だけでなく、<u>周辺もスクリーンショットする等して、発行元がわかるように提出すること</u> ※4：成績証明書に成績評価基準（Grading System）が記載されている場合も、本PDFファイルで別途提出すること

成績評価基準（例）

GPA(Grade Point Average)の成績評価

GPA による成績評価制度を導入しています。成績表には、「今学期の GPA」及び「累計 GPA」が表示されています。これらの GPA は、学期終了ごとに成績表に最新の数値が表示されます。

【成績評価基準とポイント（GP）】

はっきりと読めるか
必ず確認

評点	評価	可否	ポイント(GP)
～100 点	S	合格	4.3
～94 点	A		4.0
～84 点	B		3.0
～74 点	C		2.0
～64 点	D		1.0
～59 点	E	不合格	0.0
単位認定	R	可（合格）	GPA の計算対象外とする
単位認定	Q	不可（不合格）	

【GPA 計算式】

$$\text{GPA} = \frac{(S \text{ の修得単位数} \times 4.3 + A \text{ の修得単位数} \times 4.0 + B \text{ の修得単位数} \times 3.0 + C \text{ の修得単位数} \times 2.0 + D \text{ の修得単位数} \times 1.0)}{\text{総登録単位数}(R, Q \text{ 及び卒業要件外の単位は含まない})}$$

GPA の計算方法については、合格の評価である S,A,B,C,D に対して、各々 S=4.3 ポイント、A=4.0 ポイント、B=3.0 ポイント、C=2.0 ポイント、D=1.0 ポイントとして、修得した単位数に乗じて加算します。不合格の評価である E の単位数は、0 ポイントになります。

各評価の単位数にポイントを乗じて加算した値を、総登録単位数（結果として不合格になった登録科目の単位数を含む）で割った値が GPA の数値になります。なお、単位認定科目（R,Q）及び卒業要件に入らない単位は、GPA 計算には含みません。

GPA の満点は、4.3 ポイントです。

満点になる条件としては、登録した GPA 計算対象科目がすべて S 評価で合格していることです。

GPA のポイントが下がる要因は、登録した GPA 計算対象科目が不合格になることと、合格した GPA 計算対象科目の評価が低いことです。このため、履修訂正の締切日までに単位修得に自信がない科目については、履修変更しておくことが必要になります。履修訂正の締切日以降の変更は認めませんので、注意してください。

東京都〇〇区〇〇一丁目二番地
留学支援大学 学長 見本



発行元がわかるように

4-2-2. 応募者が作成を依頼し、依頼された者が提出するもの：⑭

⑭推薦状（2通）	
推薦者への依頼	推薦状は、推薦者が推薦状提出フォームから提出すること（推薦状提出フォームは日本語と英語に対応） 1. 応募者は、<u>推薦者2名に推薦状の作成及び提出を依頼すること</u> 2. <u>推薦者宛のご案内「推薦状の提出について」（別添）を渡し、エントリー後に応募者宛てに通知されるID（選考管理番号）及び推薦状提出フォームを推薦者に伝えること</u> ※様式1（願書）に入力された推薦者2名からの推薦状が期限までに提出されない場合、応募者の応募書類提出が完了していても、審査対象外
提出完了の確認方法	・ 応募者が学位応募システムで推薦状の提出完了を確認できるようになるのは、<u>推薦者から提出された書類が、確実に応募者の書類であることが「海外留学支援制度（学位取得型）受付センター」で確認でき次第となります。</u>確認には数日かかることがあります。 ・ <u>特に提出期限直前は推薦状の提出が集中し、確認に時間がかかるため、余裕をもって提出されることを推奨します。</u>10月1日（木）までに推薦状が提出された場合は、提出期限（10月8日（木））までに応募者が学位応募システムで推薦状の提出完了のメッセージを確認できますが、<u>推薦状の提出が10月2日（金）以降の場合、提出状況の確認が可能となるのは提出期限以降になる可能性があります。</u>

5. 応募書類チェックリスト

本紙「4-2. 応募書類の作成・提出方法等」を確認の上、以下の書類を応募者が作成又は準備（入手）し、学位応募システムにアップロードしてください。必要書類の不備、欠落（不足）や記入漏れ等がある場合は、審査の対象となりません。

	提出時のファイル名	□は全角必須 (○)は該当者のみ	応募書類	備考・確認事項
①	KA*****_氏名.jpg/jpeg	☐	応募者の顔写真	jpeg等で提出すること
②		☐	様式1：願書	
③	KA*****_01.xlsx	☐	様式2-1：留学先大学情報【第1希望】	
		(☐)	様式2-2：留学先大学情報【第2希望】	*第2希望がある場合
		(☐)	様式2-3：留学先大学情報【第3希望】	*第3希望がある場合
		(☐)	様式2-4：留学先大学情報【第4希望】	*第4希望がある場合
		(☐)	様式2-5：留学先大学情報【第5希望】	
④	【第1希望】 KA*****_02-1.pdf	☐	【台紙】 留学先大学情報の根拠書類（様式2-1別添）提出用台紙	
		☐	別添①：大学院 英文大学名	
		☐	別添②-1：大学院 取得予定学位名	
		☐	別添②-2：大学院 取得予定学位に関する備考	
		☐	別添③：大学院 応募時の状況	
		☐	別添④：大学院 学位取得期間	
		☐	別添⑤：大学院 語学要件	
		☐	別添⑥：大学院 留学先大学の概要	
		☐	別添⑦：大学院 プログラム概要	
		☐	別添⑧：大学院 特別枠対象大学	
	【第2希望】 KA*****_02-2.pdf	(☐)	【台紙】 留学先大学情報の根拠書類（様式2-2別添）提出用台紙	
		(☐)	別添①：大学院 英文大学名	
		(☐)	別添②-1：大学院 取得予定学位名	
		(☐)	別添②-2：大学院 取得予定学位に関する備考	
		(☐)	別添③：大学院 応募時の状況	
		(☐)	別添④：大学院 学位取得期間	
		(☐)	別添⑤：大学院 語学要件	
		(☐)	別添⑥：大学院 留学先大学の概要	
		(☐)	別添⑦：大学院 プログラム概要	
		(☐)	別添⑧：大学院 特別枠対象大学	
⑤		☐	様式3：業績等について	
⑥	KA*****_03.pdf	☐	様式4：研究計画及び修了後の進路計画書	日本語で記入
⑦		☐	様式5：日本社会への貢献について	
⑧	KA*****_04.pdf	☐	【台紙】 代表的論文の抜粋（様式3別添）等提出用台紙	
		☐	別添：代表的論文の抜粋	
		(☐)	取得済学位と同分野かつ同レベルではないことを説明する文書	分野が極めて近い場合
⑨	KA*****_05.pdf	☐	【台紙】 パスポート（又は在留カード）提出用台紙	
		☐	パスポート（又は在留カード（両面））	
⑩	KA*****_06.pdf	☐	【台紙】 語学能力試験証明書等提出用台紙	
		☐	語学能力試験証明書	
		(☐)	CEFRとの対照表	別紙3に記載の無い語学能力試験の場合
		(☐)	様式イ：語学運用能力証明書	CEFRと対照できない場合
⑪	KA*****_07.pdf	☐	【台紙】 大学学部以降の卒業（修了）証明書等提出用台紙	
		☐	大学学部以降の卒業（修了）証明書（又は見込み証明書）	大学学部以降の全課程分
		(☐)	直近の在籍証明書又は入学許可書	応募時に大学院に在籍中で、修了見込証明書が提出不可の場合
⑫	KA*****_08.pdf	☐	【台紙】 大学学部以降の公式の学業成績証明書提出用台紙	
		☐	大学学部以降の公式の学業成績証明書	大学学部以降の全課程分
		(☐)	GPA計算書（様式リ-1）	直近の在籍課程の成績について、GPAに対応しているが、GPAの最大値が4.00でない場合
		(☐)	GPA計算書及びGPA算出方法説明書（様式リ-2①②）	直近の在籍課程の成績について、GPAに対応していない場合、当該校がGPA記載書類を発行できない場合、又は複数の成績を用いてGPAを算出する場合
⑬	KA*****_09.pdf	☐	【台紙】 成績評価基準（Grading System）提出用台紙	
		☐	大学学部以降の公式の学業成績証明書に対応した成績評価基準（Grading System）	⑫大学学部以降の公式の学業成績証明書（大学学部以降の全課程分）に対応した成績評価基準を提出すること
⑭	推薦者が提出	☐	推薦状（2通）	

2027 年度海外留学支援制度(大学院学位取得型)

募集要項補足 Q&A

目次

1. 応募方法.....	Q1~Q3
2. 支援対象となる留学計画	
2-1. 対象となる大学及び対象国・地域.....	Q4~Q5
2-2. 対象課程.....	Q6~Q11
2-3. 支援期間・支援開始・支援終了.....	Q12~Q18
3. 資格要件	
《応募時に満たすべき要件》	
3-1. 応募者身分.....	Q19~Q23
3-2. 学歴.....	Q24~Q28
3-3. 語学要件.....	Q29~Q36
3-4. 成績要件.....	Q37~Q45
3-5. 取得予定学位.....	Q46~Q47
3-6. 推薦状.....	Q48~Q50
《支援開始までに満たすべき要件》	
3-7. 入学許可書.....	Q51~Q53
3-8. 職歴.....	Q54
《その他要件》	Q55
4. 留学計画の変更.....	Q56~Q58
5. 支援内容.....	Q59~Q62
6. 審査方法.....	Q63~Q68
7. 特別枠.....	Q69~Q74

1. 応募方法

Q-1 大学取りまとめ応募と個人応募のどちらで応募したら良いかわかりません。

A-1 以下のどちらに当てはまるか確認してください。

【大学取りまとめ応募】

- ・日本の大学／大学院に在籍中の場合
- ・日本の大学／大学院を卒業した場合

【個人応募】

- ・日本の高等専門学校専攻科を修了した場合
- ・日本の大学／大学院に在籍したことがない場合
- ・日本の在籍（卒業）大学／大学院が取りまとめを行わない場合



募集要項 1 ページ

Q-2 「博士」の応募区分で応募します。学士課程と修士課程で異なる大学を卒業した場合、どちらの大学に取りまとめを依頼すれば良いですか？

A-2 どちらでも構いません。

取りまとめを引き受けてくれる大学に依頼してください。



募集要項 1 ページ

Q-3 願書において、専攻内容が2つの専門分野に該当し、それぞれ「審査分野」が自然科学分野と人文・社会科学分野で異なります。どのように申請すれば良いですか？

A-3 より近い方の専門分野を選択してください。

審査分野は原則、選択した専門分野に基づき決まります。

※研究内容等により、専門分野に基づく審査分野とは別の分野での審査を希望する場合は、「様式1（願書）」の「審査希望分野の選択理由」欄にその理由を入力の上申請してください。

※自然科学分野と人文・社会科学分野では審査員が異なります。

2. 支援対象となる留学計画

2-1. 対象となる大学及び対象国・地域

Q-4 応募できる大学に指定はありますか？

A-4 通常の応募枠についてはありません。

※特別枠については指定があります。特別枠への申請を希望する場合は、Q-69～74を参照してください。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 1.対象となる大学

Q-5 海外の大学の日本校は支援対象になりますか？

A-5 支援対象外です。

諸外国等に所在する大学への留学ではないので、支援対象外です。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 2.対象国・地域

2-2. 対象課程

Q-6

学士号取得後、修士課程への出願に必要なHonors Bachelorの課程へ進学します。支援対象になりますか？

A-6

「修士」以上の学位ではないため、支援対象外です。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 3.対象課程

Q-7

学士・修士一貫課程で、学士号と修士号を取得見込みです。修士課程の期間は支援対象になりますか？

A-7

条件により異なります。

学士と修士の学位が両方授与される場合で、学士課程と修士課程の期間が明確に分かれている（原則、学士課程の修了後に修士課程が開始となる）場合、修士課程の期間は支援対象となります。ただし、支援期間開始までに「学士」の学位を取得している必要があります。学士と修士の学位が同時に授与される場合は支援対象外です。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 3.対象課程

Q-8

海外の複数の大学が協同で実施する大学間共同学位プログラム（ダブルディグリー・プログラムやジョイントディグリー・プログラム）で留学する場合は支援対象になりますか？

A-8

条件により異なります。

以下の全てに該当する場合は、大学間共同プログラムとして本制度の支援対象となります。
※応募書類には、一つの留学計画として記入します。

- ①個人でアレンジしたプログラムではなく、大学同士が協同で実施するプログラムであること
- ②それぞれの大学が、単独でも、修士号又は博士号（希望する学位）の授与が可能であること
- ③支援期間開始までに、学位が授与される全ての大学の入学許可を得ることが可能であること



募集要項 III 支援対象となる留学計画 3.対象課程

Q-9

日本の大学と海外の大学が協同で実施する大学間共同学位プログラム（ダブルディグリー・プログラムやジョイントディグリー・プログラム）で留学する場合は支援対象になりますか？

A-9

条件により異なります。

A-8の条件を全て満たしている場合は、支援対象です。

ただし、支援期間は海外の大学への留学期間のみです。

※支援期間については、採用後の支援開始手続きで確定します。

※留学期間終了時ではなく、日本の大学での学修・研究活動終了後に留学先大学の学位を取得する場合は、「募集要項 IV 資格要件（2）」の「留学期間終了後」を「学位取得後」に読み替えてください。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 3.対象課程

Q-10 芸術分野（美術、音楽、舞踊、演劇、舞台美術等、映画、メディア芸術）の専攻で、学位取得を希望しています。支援対象になりますか？

A-10 条件により異なります。

芸術分野において主に実技科目履修（主な履修が学術的な学修や研究以外）により学位を取得する場合は、本制度の支援対象外です。文化庁が実施する「新進芸術家海外研修制度」の対象となる場合がありますので、詳しくは文化庁のウェブサイトで確認してください。

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu/>



募集要項 III 支援対象となる留学計画 3.対象課程



Q-11 留学希望先はオンラインでの授業や論文指導のみです。支援対象になりますか？

A-11 条件により異なります。

受講する場所が日本であるか、海外であるかに関わらず、通信・遠隔教育（完全オンラインでの授業や指導教員による研究指導・論文指導等）により提供される課程は諸外国等に所在する大学への留学とは見なせないため、支援対象外です。ただし、完全オンラインであっても、日本以外の諸外国等に滞在することを留学先大学が必須で定めている場合は支援対象です。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 3.対象課程

2-3. 支援期間・支援開始・支援終了

Q-12 留学希望先は学位取得まで最短で2年半の修士課程で、第1学年からの支援希望です。支援期間はどのようになりますか？

A-12 支援期間は2年となります。

本制度では正規課程（学位が取得でき、かつフルタイムの学生として在籍する課程）の学生として留学先大学が定める学位取得に必要な最短期間（標準修業年限）を支援しますが、「修士」の区分での支援期間は上限2年（24か月）です。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 4.支援期間・支援開始・支援終了

Q-13 既に留学中で、学位取得まで最短で2年の修士課程です。第2学年からの支援を希望しています。支援対象になりますか？

A-13 支援対象です。

本制度の支援期間は正規課程（学位が取得でき、かつフルタイムの学生として在籍する課程）の学生として留学先大学が定める学位取得に必要な最短期間（標準修業年限）となります。

標準修業年限内であれば、第2学年以降からでも支援対象です。

※申請及び審査は新たに留学を開始する応募者（第1学年からの支援希望者）と同様に行います。

採用された場合は、2027年度（2027年4月から2028年3月まで）における新たな学年の学修・研究活動の開始月から支援します。

※学年の区別が明確でない場合は、当該課程（プログラム）での学修・研究活動開始月を起点として12か月を1学年と見なします。

例）2026年9月から学修・研究活動開始した場合の支援開始月は、2027年9月です。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 4.支援期間・支援開始・支援終了

Q-14 既に留学中で、学位取得まで最短で2年の修士課程です。第2学年からの支援を希望していますが、1年間のインターンシップ（任意）を行う場合は学位取得まで3年かかります。支援期間はどのようになりますか？

A-14 支援期間は1年となります。

支援期間内であればインターンシップの期間も支援対象としますが、本制度の支援期間は正規課程（学位が取得でき、かつフルタイムの学生として在籍する課程）の学生として留学先大学が定める学位取得に必要な最短期間（標準修業年限）となります。

※留学先大学を休学してインターンシップを行う場合は採用取消し（支援期間中の場合は、その時点で支援終了）となります。

※支援期間は、採用後の支援開始手続き時に確定します。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 4.支援期間・支援開始・支援終了

Q-15 既に留学中で、学位取得まで最短で3年の博士課程です。最終学年が2027年3月に始まり、2028年2月に終了します。支援対象になりますか？

A-15 支援対象外です。

2027年度（2027年4月から2028年3月まで）に新たな学年の学修・研究活動が始まる場合が支援対象です。学年の途中からの支援はできません。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 4.支援期間・支援開始・支援終了

Q-16 既に留学中で、学位取得まで最短で3年、在学年限が6年の博士課程です。第4学年からの支援を希望しています。支援対象になりますか？

A-16 支援対象外です。

本制度の支援期間は正規課程（学位が取得でき、かつフルタイムの学生として在籍する課程）の学生として留学先大学が定める学位取得に必要な最短期間（標準修業年限）となります。標準修業年限を超えて支援することはできません。

※標準修業年限は、在学年限（在学可能な年限）ではありません。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 4.支援期間・支援開始・支援終了

Q-17 既に留学中で、学位取得まで最短で3～4年の博士課程です。第2学年からの支援を希望していますが、修士課程で所定の単位を修得している場合等を除き、3年で学位を取得することは不可能です。一般的に学位取得まで4年かかります。支援期間はどのようになりますか？

A-17 留学先大学発行書類にて、学位取得まで最短4年であることが確認できた場合、支援期間は3年となります。

本制度では正規課程（学位が取得でき、かつフルタイムの学生として在籍する課程）の学生として留学先大学が定める学位取得に必要な最短期間（標準修業年限）を支援します。標準修業年限の根拠書類として留学先大学が発行する公式文書を確認します。

※支援期間は、採用後の支援開始手続き時に確定します。



募集要項 III 支援対象となる留学計画 4.支援期間・支援開始・支援終了

Q-18	既に留学中で、学位取得まで最短で3年の博士課程です。第3学年からの支援を希望していますが、4年目に1年間の“writing up period（論文執筆期間）”が認められています。支援期間はどのようになりますか？
A-18	支援期間は1年となります。 本制度の支援期間は正規課程（学位が取得でき、かつフルタイムの学生として在籍する課程）の学生として留学先大学が定める学位取得に必要な最短期間（標準修業年限）となります。 標準修業年限を超えて支援することはできません。 例）英国の大学院で標準修業年限後に設けられている“writing up period（論文執筆期間）”は支援対象外です。  募集要項 III 支援対象となる留学計画 4.支援期間・支援開始・支援終了

3. 資格要件

《応募時に満たすべき要件》

3-1. 応募者身分

Q-19	応募時は日本国籍でしたが、支援期間中に国籍を変更しました。継続して支援を受けることは可能ですか。
A-19	いいえ。 支援期間中に、日本国籍を放棄した時点で支援を終了します。 ※日本への永住許可が取り消された場合も同様の取扱いとします。  募集要項 IV 資格要件

Q-20	過去の応募で不合格になりました。再応募はできますか？
A-20	応募できます。  募集要項 IV 資格要件

Q-21	過去に採用されましたが、辞退しました。再応募はできますか？
A-21	応募できます。 ※支援期間開始前の辞退、支援期間中の辞退、どちらであっても可能です。  募集要項 IV 資格要件

Q-22	現在、「修士」の区分で採用されています。博士課程へ進学するにあたり、「博士」の応募区分での再応募はできますか？
A-22	応募できます。  募集要項 IV 資格要件

Q-23

現在、「博士」の区分で採用されています。2027年度に始まる新たな学年からの支援のために、再応募できますか？

A-23

条件により異なります。

学位取得に必要な最短期間（標準修業年限）内で、支援対象となる期間が1学年以上ある場合は、再応募できます。ただし、2027年度以降に、現在の支援期間が1学年以上残っている場合は、再応募することはできません。



募集要項 IV 資格要件

3-2. 学歴

Q-24

2027年4月以降に大学学部を卒業予定です。応募できますか？

A-24

支援期間開始時まで「学士」の学位を取得可能である場合は、応募できます。

応募時は卒業見込みの場合も応募できます。

※採用後の支援開始手続き時に、学士号取得証明書（卒業証明書）の提出が必要です。



募集要項 IV 資格要件(5)

Q-25

国内の高等専門学校専攻科を修了（見込み）です。応募できますか？

A-25

支援期間開始時まで「学士」の学位を取得可能である場合は、応募できます。

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構によって「学士」の学位を授与されている者、又は同機構に「学士」の学位の授与を申請中若しくは申請予定であれば応募できます。

※採用後の支援開始手続き時に、学士号取得証明書の提出が必要です。



募集要項 IV 資格要件(5)

Q-26

学士・修士一貫課程に在籍中で、学士号は授与されず、修士号のみ取得見込みです。「博士」の応募区分で応募できますか？

A-26

応募できます。

支援期間開始までに「学士」以上の学位を取得予定である場合は応募できます。

※学士号を取得せず、修士号のみを取得する場合も対象です。



募集要項 IV 資格要件(5)

Q-27

日本の大学院を休学し、海外の大学院へ留学します。応募できますか？

A-27

応募できます。

ただし、学位取得を目的として、正規課程（学位が取得でき、かつフルタイムの学生として在籍する課程）に入学する場合に限ります。



募集要項 IV 資格要件(5)、VII 応募方法 4.応募書類⑪

Q-28	既に留学中で、第2学年からの支援を希望しています。入学したばかりで「修了見込み証明書」を提出できません。代わりにどのような書類が必要ですか？
A-28	<u>「在籍証明書」を提出してください。</u> ※在籍証明書の提出も難しい場合は、「入学許可書」を提出してください。 ※留学先大学情報の根拠書類としても、「在籍証明書」又は「入学許可書」を提出する必要があります。  募集要項 IV 資格要件(5)(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑪

3-3. 語学要件

Q-29	有効期限を過ぎた語学能力試験結果でも認められますか？
A-29	<u>認めます。</u>  募集要項 IV 資格要件(6)

Q-30	期間限定で特別に実施されていた「IELTS Indicator」や「TOEFL iBT® Special Home Edition」、オンラインで受験できる「IELTS Online」や「TOEFL iBT® Home Edition」は、語学能力試験結果として認められますか？
A-30	<u>認めます。</u> ※IELTSの場合はAcademic Moduleの試験結果以外は認めません。  募集要項 IV 資格要件(6)

Q-31	TOEFLは、My Best Scores でも認められますか？
A-31	<u>認めません。</u>  募集要項 IV 資格要件(6)

Q-32	IELTSのOne Skill Retakeのスコアは認められますか？
A-32	<u>認めます。</u>  募集要項 IV 資格要件(6)

Q-33	留学先大学での主たる使用言語が、第1希望ではフランス語、第2希望では英語です。両方の語学能力試験結果の提出が必要ですか？
A-33	<u>必要です。</u> 以下のような場合は両方の言語で本制度の資格要件（語学要件）を満たしている必要があります。 ・留学先大学での主たる使用言語が第1希望と第2希望で異なる場合 ・留学先大学での主たる使用言語が2言語ある場合（大学への入学において両方の言語の語学要件有り）  募集要項 IV 資格要件(6)

Q-34 募集要項に記載されている語学要件は満たしていますが、留学希望先への入学において必要となる語学要件は満たしていません。応募できますか？

A-34 応募できます。



募集要項 IV 資格要件(6)

Q-35 留学希望先からは語学能力試験結果の提出を求められていませんが、語学能力試験結果の提出は必要ですか？

A-35 必要です。

留学希望先の語学要件に関わらず、応募者は本制度の資格要件（語学要件）を満たしている必要があります。

※いかなる場合でも本制度の資格要件が免除となることはありません。



募集要項 IV 資格要件(6)

Q-36 既に留学中で、第2学年からの支援を希望しています。留学希望先に合格している場合（在籍中）でも、語学能力試験結果の提出は必要ですか？

A-36 必要です。

応募者は本制度の資格要件（語学要件）を満たしている必要があります。

※いかなる場合でも本制度の資格要件が免除となることはありません。



募集要項 IV 資格要件(6)

3-4. 成績要件

Q-37 提出する学業成績証明書は、非公式のものでも良いですか？

A-37 いいえ。非公式書類は認められません。

原則、大学が発行した公式の学業成績証明書を提出してください。ただし、公式の学業成績証明書を提出できないやむを得ない事情がある場合に限り非公式のものでも受け付けますので、大学発行の根拠書類又は事情書（様式任意）と併せて提出してください。



募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

Q-38 いつの成績証明書を提出すれば良いですか？

A-38 大学学部以降に在籍した全ての課程の成績証明書を提出してください。

応募時に判明している全ての成績を提出する必要があります。

※中途退学した場合や応募時に休学している場合も含みます。

※在学中の場合は、応募時に判明している分まで提出してください。



募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

Q-39

学士課程終了後、修士課程の途中で休学や中退しました。直近の修士課程の成績証明書の提出は必要ですか？

A-39

必要です。

学士課程での成績 と修士課程の成績（成績が判明している分まで） を提出してください。修士課程での成績（成績が判明している分まで） がGPAの算出対象となります。

ただし、修士課程の前期の途中で中退したため、成績がつかない等の場合は、事情書（様式任意）を併せて提出することで、1つ前の学士課程の成績をGPAの算出対象とすることができます。



募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

Q-40

学士課程において1年間他大学に交換留学をしました。留学中の現地の成績証明書の提出は必要ですか？

A-40

不要です。

在籍が派遣元の大学にある場合、留学先で発行された成績証明書を提出する必要はありません。

※直近の在籍課程の成績について、留学時の成績が派遣元の大学の成績証明書に反映されていない場合、GPAの算出には含めません。



募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

Q-41

GPA算出対象となる成績について、いつの成績を計算すれば良いですか？

A-41

大学学部以降の直近の在籍課程の成績を計算してください。

大学学部卒業見込み者又は修士課程若しくは博士課程に在籍中の者は、原則、応募時に在籍している課程の成績がGPAの算出対象となります。

※入学したばかりで成績が判明していない場合は、1つ前の課程の成績がGPAの算出対象となります。



募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

Q-42

日本の大学院を休学し、海外の大学に留学中です。直近の在籍課程としてはどちらも該当します。両方の成績が判明している場合、どちらの成績を計算すれば良いですか？

A-42

入学時期が新しい方（海外の大学）の成績を計算してください。



募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

Q-43

直近の在籍課程の成績について、学士課程において第3学年から別の大学に編入しました。総在籍期間におけるGPAはどのように算出すれば良いですか？

A-43

卒業（卒業見込み）大学における成績を計算してください。

以前の大学の成績が反映されているかどうかに関わらず、卒業（卒業見込み）大学における成績がGPAの算出対象となります。

ただし、例えばA大学を中退しB大学に編入した場合、GPAの算出対象はB大学の成績ですが、A大学の成績（単位）がB大学の成績証明書に反映されていない場合は、A大学の成績証明書及び成績評価基準（Grading System）も提出する必要があります。



募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

Q-44 直近の在籍課程の成績について、学士課程においてダブルディグリー・プログラムのため2つの学士号を同時期に取得しました。成績証明書は2大学分ありますが、どのようにGPAを算出すれば良いですか？

A-44 それぞれの成績（GPの最大値4.00とした場合のGPA）より、以下の方法で計算してください。

＜計算方法＞

$$\left(\left[\text{A大学の成績} \right] \times \left[\text{A大学の総単位数} \right] + \left[\text{B大学の成績} \right] \times \left[\text{B大学の総単位数} \right] \right) \div \left(\text{A大学の総単位数} + \text{B大学の総単位数} \right)$$

※両方の成績について、成績証明書及び成績評価基準（Grading System）を提出する必要があります。

 募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

Q-45 直近の在籍課程の成績について、成績評価が認定単位（Pass/Fail 等）のみの場合、どのようにGPAを算出すれば良いですか？

A-45 全ての成績評価がPass/Fail のみの場合、PassはGP 4.00、FailはGP 0.00として計算してください。

※数科目のみ成績評価が認定単位（Pass/Fail 等）となっている場合は、その科目についてはGPAの算出に含めないでください。

 募集要項 IV 資格要件(7)、VII 応募方法 4.応募書類⑫⑬

3-5. 取得予定学位

Q-46 「留学希望先での取得予定学位が、取得済み学位と同分野かつ同レベル」とはどのような意味ですか？

A-46 例えば、既に経済学修士の学位を取得済みで、留学希望先において、同じ修士課程で同じ分野である経済学修士の学位を取得しようとする場合を指します。もし、支援を希望する学位と同じレベルの学位を取得済みで、分野が極めて近い場合には、これまで学修・研究してきた分野と同じではないことを別紙（様式任意）で説明してください。

※同じレベルの学位を取得済みで、同分野のコースワークからリサーチワークになる場合等も、「同分野かつ同レベル」に該当し、支援対象外です。

 募集要項 IV 資格要件(8)

Q-47 既に修士号を取得済みですが、別の分野の修士課程に進学予定です。支援対象になりますか？

A-47 支援対象です。

同レベルの学位取得を目指す場合であっても、異なる分野を学修・研究する場合は支援対象です。

※同分野でないことが明確な場合は、別紙（様式任意）での説明は不要です。

 募集要項 IV 資格要件(8)

3-6. 推薦状

Q-48 推薦状はどのような人に依頼すれば良いですか？

A-48 指導教員等の大学教員が望ましいです。

推薦者は、指導教員等の大学教員や職場の上司等、応募者の専門分野について十分な知識と高い見識を持ち、応募者の研究姿勢をよく知っている人物に限ります。



募集要項 VII 応募方法 4.応募書類⑭

Q-49 推薦状は1通でも応募できますか？

A-49 応募できません。

2名の推薦者が必要です。例外はありません。



募集要項 VII 応募方法 4.応募書類⑭

Q-50 3名に推薦状を依頼しても良いですか？

A-50 応募書類としては2通のみしか受け付けません。

応募者が提出する「様式1（願書）」に入力された推薦者2名からの推薦状が必要です。この2名以外から推薦状が提出された場合は、応募書類として取り扱いません。



募集要項 VII 応募方法 4.応募書類⑭

《支援開始までに満たすべき要件》

3-7. 入学許可書

Q-51 応募時には留学希望先からまだ入学許可を得られていなくても応募できますか？

A-51 応募できます。

ただし、支援期間開始までに留学先大学からの無条件入学許可を得ている必要があります。



募集要項 IV 資格要件(11)

Q-52 修士課程に進学予定です。留学希望先から、プレマスターコース（Pre-Master）の修了を条件とする「条件付き入学許可」を得ています。応募できますか？

A-52 応募できます。

ただし、支援期間開始までに留学先大学からの無条件入学許可を得ている必要があります。



募集要項 IV 資格要件(11)

Q-53 海外の大学同士で実施されるダブルディグリー・プログラムで、最初の1年をA大学、残りの期間をB大学で学修します。入学時はA大学の入学許可書のみ発行され、B大学に入学できるかどうかは分かりません。このプログラムで応募できますか？

A-53 応募できません。

ダブルディグリー・プログラムの場合は、支援期間開始までに、学位が授与される全ての大学の無条件入学許可書が必要です。



募集要項 IV 資格要件(11)

3-8. 職歴

Q-54 現在在職中です。応募できますか？

A-54 応募できます。

ただし、応募時又は留学するまでの間で企業等に雇用されていた場合は、支援期間開始までに退職している必要があります。支援開始手続き時に「退職証明書」の提出を求めます。

※正社員として勤務し、留学期間中にその企業等の契約社員等に身分を変更する場合や休職する場合は、「退職した」と見なせません。



募集要項 IV 資格要件(13)

《その他要件》

Q-55 支援期間中に、アルバイトをしても良いですか？

A-55 はい。

学修・研究活動に支障が出ない場合に限り、支援期間中に報酬を得ることは妨げません。

※留学先国・地域で報酬を得る活動をする際、業種・報酬金額・就労時間等に制限があることがあります。必要な査証や資格等にかかる法令の規定については必ず各自で確認の上、遵守してください。

※本制度の支援対象となる学生の身分で行う活動の一環として、留学先大学でTAやRA、学位取得に必要な研究活動等のために雇用され報酬を得ることについては、支援期間開始前及び支援期間中も認めます。



募集要項 IV 資格要件(14)

4. 留学計画の変更

Q-56 第3希望又は第4希望に記入した留学先大学における留学計画への変更であれば、無条件で再審査を受けられますか？

A-56 いいえ。

応募時に申請した留学計画からの変更は原則として認めません。再審査は審査のやり直しですので、変更せざるを得ないやむを得ない事情があり、第1希望・第2希望に記入した2校と同等又はそれ以上のレベルの大学であることや、第1希望・第2希望の留学計画と同等以上に留学成果をあげられるか、第1希望・第2希望の取得予定学位と同等以上であるか等、要件を全て満たす場合に限り申請が認められます。



募集要項 VII 応募方法 4.応募書類③

Q-57 第1希望～第4希望に記入した留学先大学における留学計画以外への変更を希望する場合の条件「変更先大学が明らかにそれら4校と同等又はそれ以上のレベル」はどうやって証明すれば良いですか？

A-57 客観的な指標を用いて証明してください。

例えば、最新のQS又はTimes Higher Educationのワールドランキング等のランクやオーバーオールスコアを用いて説明してください。



募集要項 VII 応募方法 4.応募書類③

Q-58 第1希望～第4希望に記入した留学先大学における留学計画以外への変更を希望する場合、「変更先大学が明らかにそれら4校と同等又はそれ以上のレベル」であることが証明できれば再審査に合格しますか？

A-58 いいえ。

変更先大学が「同等又はそれ以上のレベル」であることが証明できても、合格するわけではありません。留学計画や取得予定学位が同等以上であるか等も含めて、総合的に判断をして合否が決定します。



募集要項 VII 応募方法 4.応募書類③

5. 支援内容

Q-59 奨学金は毎年同じ金額が支給されますか？

A-59 変更となる可能性があります。

国費による奨学金のため、奨学金月額は、政府の各年度の予算成立状況により変更となる場合があります。



募集要項 V 支援内容

Q-60 定められた奨学金月額単価を変更することは可能ですか？

A-60 いいえ。

国・地域ごとに設定した奨学金月額を支給します。留学先大学から奨学金や報酬等を受給する場合や学費免除を受ける場合、他の奨学金等支給団体から奨学金等の支援を受ける場合等であっても、個別の状況に応じた奨学金月額の調整は行いません。



募集要項 V 支援内容

Q-61 奨学金とは別に授業料の支給はありますか？

A-61 ありません。

本制度では学修・研究活動に必要な経費を支援します。その範囲内において奨学金の使途に指定はありません。



募集要項 V 支援内容

Q-62 支援期間中にインターンシップやフィールドワークをすることは可能ですか？

A-62 可能です。

学位取得に必要な学修・研究活動の一環として行う場合は、当該期間も奨学金を支給します。
※奨学金月額は、その月に留学先にいない場合でも学位取得に必要な学修・研究活動をしていることを確認した上で支給します。
※奨学金月額は在籍する留学先大学の所在地に基づきますので変わりません。



募集要項 V 支援内容

6. 審査方法

Q-63 応募者の合格率はどのくらいですか？

A-63 機構のウェブサイトを参照してください。

過去の応募・採用状況を公開しています。

([プレスリリース]海外留学支援制度(大学院学位取得型) 応募・採用状況)

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/daigakuin/press.html



募集要項 VIII 審査方法

Q-64 審査では、何が重要視されますか？

A-64 審査基準は公表していません。

「募集要項 IV 資格要件」を全て満たしている者を対象に、書面審査及び面接審査で総合的に審査します。



募集要項 VIII 審査方法

Q-65 語学力や成績は審査に影響しますか？

A-65 総合的に審査します。

語学力や成績評価が高くても、研究計画及び修了後の進路計画等の実行性が乏しいと判断される場合には不合格になります。



募集要項 VIII 審査方法

Q-66 留学先大学のレベルが高い方が有利ですか？

A-66 総合的に審査します。

留学先大学のレベルが高くても、研究計画及び修了後の進路計画等の実行性が乏しいと判断される場合には不合格になります。



募集要項 VIII 審査方法

Q-67 第一次審査（書面審査）に合格した場合、願書に記入した第1希望及び第2希望の留学先大学における留学計画が支援対象として認められたということですか？

A-67 いいえ。全てが認められたとは限りません。

支援対象外の課程（例：取得予定学位が修士の学位又は博士の学位ではない場合等）については、審査対象となりません。また、支援対象外の期間（例：学年途中からの支援や標準修業年限後の期間（論文執筆期間等））については認められません。

※3月の採否結果で支援対象として認められた支援内容についてお知らせします。



募集要項 VIII 審査方法 1.第一次審査（書面審査）

Q-68 第二次審査（面接審査）の日程は希望を聞いてもらえますか？

A-68 希望は受け付けていません。

指定された日時を変更することもできません。



募集要項 VIII 審査方法 2.第二次審査（面接審査）

7. 特別枠

Q-69 特別枠と通常の応募枠の両方で応募することは可能ですか？

A-69 可能です。

特別枠に申請した者は通常の応募枠での応募者としても取り扱います。特別枠で不合格となった場合でも、通常の応募枠の方で合格となる可能性があります。

また、審査において特別枠の要件を全て満たしていないと判断された場合には、特別枠で申請された場合でも通常の応募枠での応募者として取り扱います。

※第一次審査（書面審査）合格者には結果通知で審査枠を、また最終合格者には3月の採否結果で採用枠をお知らせしますので確認してください。



募集要項 IV 資格要件(16)

Q-70

第1希望と第2希望の留学先大学における留学計画のうち、第1希望のみを特別枠で申請することは可能ですか？

A-70

可能です。

特別枠への申請は第1希望及び第2希望の留学先大学における留学計画についてそれぞれ申請する必要があります。

なお、第1希望と第2希望のうち、第1希望のみを特別枠で申請して採用された場合、実際の進学先が第1希望の場合は特別枠、第2希望の場合は通常の応募枠としての支援内容となります。

※最終合格者には3月の採否結果で採用枠をお知らせしますので確認してください。



募集要項 IV 資格要件(16)

Q-71

修士・博士一貫課程の第1学年からの支援を希望しています。特別枠への申請は可能ですか？

A-71

可能です。

修士・博士一貫課程で、最初に取得する学位が修士号である場合でも、特別枠に申請する場合は、「博士」の応募区分を選択してください。課程の途中で修士の学位を取得するかどうかに関わらず、博士の学位を取得するプログラムに在籍し最終的に取得する学位が博士号である場合は、特別枠への申請ができます。



募集要項 IV 資格要件(16)、III 支援対象となる留学計画 4.支援期間・支援開始・支援終了

Q-72

特別枠対象大学リスト（別紙4）に記載のない大学であっても、特別枠として申請できますか？

A-72

条件により異なります。

教育面を含めた総合的な指標を用いた直近3年以内の世界大学ランキング（総合ランキング又は分野別ランキング）で上位30位以内の大学であれば、特別枠として申請できます。

根拠書類として、留学先大学情報根拠書類の「様式2別添⑧特別枠対象大学」にランキングの該当箇所のスクリーンショットを貼付し、特別枠対象大学リスト（別紙4）の大学と同等又はそれ以上であることを明示してください。分野別ランキングを用いる場合は、研究テーマと合致したものを使用してください。

なお、世界の大学を対象とする一つのランキングで上位30位以内であることを示す必要があります。特定の地域や国等に限定したランキングを用いることや、複数のランキングを組み合わせで説明することはできません。



募集要項 IV 資格要件(16)

Q-73

特別枠に申請した場合、審査では、何が重要視されますか？

A-73

審査基準は公表していません。

募集要項のとおり、審査の評価項目は通常の応募枠と同様です。特別枠の資格要件を全て満たしている者を対象に、書面審査及び面接審査で総合的に審査します。



募集要項 VIII 審査方法

Q-74

特別枠で採用された場合で、もしも申請した大学に合格しなかった場合に、第1希望又は第2希望に記入した留学先大学における留学計画以外への変更は可能ですか？特別枠の取り扱いはどのようなになりますか？

A-74

条件により異なります。

応募時に申請した留学計画からの変更は原則として認めませんが、再審査については通常に応募枠と同様ですので、Q-56～58を参照してください。

ただし、特別枠としては、再審査では特別枠対象大学リストに記載がある大学以外への変更は認めません。再審査に合格して特別枠対象大学以外に進学する場合は特別枠の採用を取り消し、通常に応募枠での採用となります。また、再審査の際は、特別枠で採用されたということを踏まえて審査を行います。



募集要項 VII 応募方法 4.応募書類③